

令和元年度

かごしま県民大学中央センター事業報告書 16

かごしまの生涯学習



写真/令和元年度 主催事業の様子



県下全域を
生涯学習の
キャンパスに



鹿児島県教育庁 かごしま県民大学中央センター

はじめに

令和元年度は、平成31年4月で始まり令和2年3月で1年を締めくくるという大きな節目の年でありました。かごしま県民大学中央センターも、平成15年4月の開所から16年目を迎え、県立の生涯学習センターとして、これまで以上に市町村・大学等と課題を共有し、連携を深め、本県生涯学習の中核施設としての役割を果たせるよう、今後の事業の方向性等の検討を進めて参りました。

本センターは、平成30年12月の中教審答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」をキーワードに、平成31年2月に策定された「第3期鹿児島県教育振興基本計画」に基づき、県民の皆様が生涯を通じて学び活躍できる環境づくりの実現を目指して、「学習機会の提供及び指導者養成」「学習情報の提供」「調査・研究」の視点で事業を行っております。

本年度の新たな取組として、「学習機会の提供及び指導者養成」では、「生涯学習県民大学講座」を希望市町村との共催としました。市町村の課題を解決するための講座として、企画・運営等も含めて情報共有し、事業の質と受講者の満足度の向上や事務の効率化に努めました。また、「メディア研修講座」では、市町村等における教育メディア活用の促進と現代的課題の解決を図ることを目的に、市町村等が実施するメディア研修へ職員派遣を行いました。その一環として、鹿児島大学と連携した「プログラミング親子セミナー」にも講師として参加しました。また、「学習情報の提供」では、「アジア国際子ども映画祭」九州ブロック事務局として、参加作品選定事業も実施しました。

「調査・研究」では、鹿児島大学産学・地域共創センターとの共同研究に取り組みました。研究テーマを「人口減少時代における鹿児島県下の社会教育・生涯学習の課題・ニーズ把握のための調査体制確立に向けた基礎的研究」として、本センターが実施する「ふるさとおこしリーダー育成講座」を調査対象に設定し、本県（本センター）及び市町村における社会教育・生涯学習推進上の課題、並びに各自治体における地域ニーズの把握の実態と事業との関係について明らかにすることを目指しました。また、令和元年度調査分から、本センターが実施する「生涯学習関連事業調査」と本庁社会教育課が実施する「社会教育・生涯学習現状調査」を統合し、本センターが総括して実施することとなります。

本年度は、本センターの事業の方向性を見直すに当たり、「かごしま県民大学」推進協議会が廃止され、今後、施策の方向性等は、県社会教育委員の会議で協議されることとなりました。また、平成15年の開所当初から続けてきた人材育成講座も現在のスタイルとなった平成23年度から令和元年度までに、県内各地域の300人を超える方が講座を修了したこと等から、直接県民を対象とした人材育成事業としては本年度で終了となります。次年度からは、本センターの役割として、大学や市町村等と連携し、人材育成も含めて市町村の課題解決への取組を支援することに重点を置き、調査・研究を充実させ、学習情報の提供に取り組むこととしております。

本報告書は、本センターの令和元年度事業の概要及び主催講座受講者の活動状況等をまとめたものです。県内各所での生涯学習の事業推進に御活用いただけましたら幸いです。

最後に、事業実施及び本報告書の作成に当たり、多大な御尽力、御協力を賜りました関係者並びに各関係機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、今後とも本センターの各種事業に、御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

かごしま県民大学中央センター
所長 大山 涼子

〔目 次〕

| | |
|--|----|
| はじめに | 1 |
| 目 次 | 2 |
| I 事業体系 | 3 |
| II 学習機会の提供及び指導者養成 | 4 |
| 1 ふるさと活性化人材育成事業「ふるさとおこしリーダー育成講座」 | |
| 2 生涯学習県民大学講座 | |
| 3 かごしま県民大学連携講座 | |
| 4 メディア研修講座 | |
| 5 市町村等メディア研修支援 | |
| 6 来所研修 | |
| III 学習情報の提供 | 21 |
| 1 学習成果発表の場の提供 | |
| 2 指導者・講師情報の提供 | |
| 3 その他の情報提供 | |
| IV 調査・研究 | 29 |
| 1 主催講座等の修了者の受講後の活動状況 | |
| 2 県内の生涯学習推進状況調査 | |
| 3 県民の学習ニーズ調査について | |
| 4 鹿児島大学との共同研究 | |
| V 「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業 | 37 |
| VI かごしま青年塾 (明治維新 150 周年を記念して後世に継承するための事業) | 38 |
| VII アジア国際子ども映画祭出品作品選定事業 | 40 |

※ 次ページ以降の凡例 「中央センター」→ かごしま県民大学中央センター
「交流センター」→ かごしま県民交流センター

(注) 調査結果等に示す割合は、小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100% と一致しない場合があります。

I 事業体系

| 学習機会の提供 及び指導者養成 | 学習情報の提供 | 調査・研究 |
|---|---|--------------|
| ふるさとおこしリーダー育成講座 (ふるさと活性化人材育成事業) | ふるさとリーダー交流会 | 生涯学習に関する調査研究 |
| 生涯学習市民大学講座 | 学習成果発表の場の提供 (ふれあい展示) ○生涯学習地区、学校、教育施設等の作品展示 | |
| メディア研修講座 | 各種情報の提供 (生涯学習に係る各種情報) ○講座・研修情報 ○指導者・講師情報 ○イベント・お知らせ情報 ○生涯学習に関する資料の配発・掲示 | |
| 市町村等メディア研修支援 | | |
| かごしま市民大学連携講座 | 視聴覚ライブラリー | |
| | 生涯学習に関する相談窓口 | |
| 来所研修 (自主グループ・講座受講者等の支援) | 「学びの手帳」推進事業 (学ぶ環境の整備) | 鹿児島大学との共同研究 |
| | 県視聴覚教育連盟との連携 (県自治体視聴覚教材コンクール) | |
| かごしま青年塾 (明治維新150周年を記念して 後世に継承するための事業) | アジア国際子ども映画祭 参加作品選定事業 | |

「かごしま市民大学」新連携協会は、令和元年9月12日に発足。

(参考) 平成30年度・令和元年度主催講座の講座数及び受講者数

| 事業 | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|-------------------|---------|----------|---------|---------|
| | 講座数 | 受講者数 | 講座数 | 受講者数 |
| 人材育成講座 | 5 講座 | 80 人 | 5 講座 | 77 人 |
| 生涯学習市民大学講座 | 26 講座 | 1,545 人 | 26 講座 | 1,707 人 |
| かごしま市民大学連携講座 (A) | 31 講座 | 4,942 人 | 26 講座 | 2,555 人 |
| メディア研修講座 (B) | 20 講座 | 553 人 | 7 講座 | 64 人 |
| (A),(B)を兼ねて実施した講座 | (2)講座 | (316)人 | (0)講座 | (0)人 |
| 合 計 | 80 講座 | 6,810 人 | 64 講座 | 4,403 人 |

Ⅱ 学習機会の提供及び指導者養成

1 ふるさと活性化人材育成事業「ふるさとおこしリーダー育成講座」

(1) 趣 旨

生涯学習で学んだ成果を生かし、郷土愛や地域の連帯感を育み、21世紀の鹿兒島を担う子どもたちを育成できる人材や郷土かごしまの情報発信の一翼を担う人材を養成する。

(2) 主 催

中央センター

(3) 内 容

ア 目 的

ふるさとにある「人」「もの」「自然」を活用したふるさとおこしを通じ、ふるさとのよさを次世代に継承し、発信していく生涯学習リーダーを育成する。

イ 講座の概要

| | 基礎講座 | ステップアップ講座 |
|-----|---|--|
| 内 容 | 生涯学習リーダーとしての基礎的な知識や技術等を習得するため、大学講師等による講話やプレゼンテーション等を行う。 | これまでの活動内容を振り返る機会とし、活動事例発表やフォーラム等を行い、人との交流や絆を深め、活動の更なる発展に繋げる。 |
| 講座数 | 3講座(各3回) | 2講座(全1回) |
| 会場数 | 3会場(交流センター、大隅地区、南薩地区) | 2会場(交流センター、輪島・伊佐地区) |
| 対 象 | 地域おこしに興味のある住民 | 地域おこしに興味のある住民・過年度基礎講座受講者 |
| 定 員 | 各講座15人 | 各講座30人 |
| 受講料 | 無料 | 無料 |
| 講 師 | 大学教授、民間、中央センター職員 | 大学教授、民間、中央センター職員 |

ウ 受講者数

〔基礎講座〕

| 会 場 | 受講者数 | 各回受講者数 | | | 修了者数 |
|--------|------|--------|-----|-----|------|
| | | 1回 | 2回 | 3回 | |
| 交流センター | 15人 | 15人 | 13人 | 12人 | 13人 |
| 大隅地区 | 7人 | 7人 | 6人 | 7人 | 6人 |
| 南薩地区 | 11人 | 4人 | 7人 | 6人 | 4人 |
| 合 計 | 33人 | 26人 | 26人 | 25人 | 23人 |



【グループ討議】



【活動計画発表】

〔ステップアップ講座〕

(交流センター会場)

| | |
|------|-----|
| 受講者数 | 21人 |
|------|-----|

(輪島・伊佐地区会場)

| | |
|----------|-----|
| 発表者数 | 2人 |
| 受講者数 | 23人 |
| (発表者を含む) | |



【現地研修】



【事例発表】

エ 講座の実際

[基礎講座]

(7) 会場・期日・場所

交流センター会場（鹿児島市）7月13日(土)・14日(日)・27日(土) 交流センター
 大隅地区会場（曾於市）9月7日(土)・8日(日)・14日(土) 大隅文化会館・大隅中央公民館
 南薩地区会場（南さつま市）12月14日(土)・21日(土)・22日(日) 南さつま市民会館

(8) 講座内容

| | プログラム | 内容等 | 講師等(敬称略) |
|-------------|---|--|--|
| 1 日 目 | ○ 開講式 オリエンテーション1 | <input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 <input type="checkbox"/> 日程等についての説明 | |
| | ○ 自己紹介 | <input type="checkbox"/> 自己紹介 ・自己紹介、受講理由等の発表 | |
| | 1 講座1 | <input type="checkbox"/> 生涯学習に関する講話 「地域の物語を紡ぐまじりく」 | 金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授) |
| 2 講座2 | <input type="checkbox"/> 事例学習 ・過去受講者等による現在の活動状況の発表 「活動の動機及び今後の課題について」 | ・成尾 隆明(県民交流センター会場) ・須藤 貴之(県民交流センター会場) ・後道 純昭(大隅地区会場) ・横口 まゆ(大隅地区会場) ・小宮 智子(南薩地区会場) ・大塚 治樹(南薩地区会場) | |
| | まとめと指導 | <input type="checkbox"/> まとめと指導 | 金子 満 |
| 3 講座3 | <input type="checkbox"/> ワークショップ 「和やかな場づくりと効果的な話し合い」 | 中央センター職員(学習推進係) | |
| 2 日 目 | ○ オリエンテーション | <input type="checkbox"/> 日程等についての説明 | |
| | 4 講座4 ※ 交流センター会場は 講座3の「ワークショップ」 | <input type="checkbox"/> 講話 「ひと」「もの」「自然」の発見の仕方・ 生かし方」 | 東川 隆太郎 (NPO法人かごしま探検の会代表理事) |
| | 質疑応答 | <input type="checkbox"/> 講話に対する質疑応答 | 東川 隆太郎 (NPO法人かごしま探検の会代表理事) |
| | 5 講座5 | <input type="checkbox"/> 活動計画案作成 ・活動計画案の作成 | 中央センター職員(学習推進係) |
| | 6 講座6 | <input type="checkbox"/> ワークショップ 「効果的な広報用チラシの作成について」 | 中央センター職員(学習情報係) |
| | | ○ オリエンテーション | <input type="checkbox"/> 日程等の説明 |
| 3 日 目 | 7 講座7 | <input type="checkbox"/> 講話 「相手に寄り添う聴き方のポイント」 | 江並 智子 (NPO法人かごしまメンタルパートナー 協会理事) |
| | 8 講座8 | <input type="checkbox"/> 受講者プレゼンテーション・意見交換 ・活動計画案の発表 <input type="checkbox"/> 指導助言 ・まとめと実践に向けた助言 | 金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授) 金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授) |
| | ○ アンケート記入 | <input type="checkbox"/> アンケート記入、その他 | |
| | ○ 閉講式 | <input type="checkbox"/> 修了証書授与 <input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 <input type="checkbox"/> 感謝状(活動調査協力等) | |

[ステップアップ講座]

(7) 日時・場所

11月17日(日) 10:00～16:00 交流センター

12月7日(土) 13:00～17:00 霧島市国分公民館

(8) 講座内容

| | プログラム | 内 容 等 | 講師等(敬称略) |
|---|-------------|--|---------------------------|
| 交 流 セ ン タ ー 会 場 | 1 開講式 | <input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 (移動車中) | |
| | 2 オリエンテーション | <input type="checkbox"/> 日程説明等 (移動車中) | |
| | 3 自己紹介 | <input type="checkbox"/> 自己紹介 (移動車中) | |
| | 4 現地研修 | <input type="checkbox"/> 先進地視察 ・活動内容説明 ・説明に対する質疑応答、意見交換 等 | 立和名 徳文 (日置市高山地区公民館 館長) |
| | 5 フォーラム | <input type="checkbox"/> ワールド・カフェ方式によるテーマ別の話し合い | 中央センター職員 (学習推進係) |
| | 6 講話 | <input type="checkbox"/> まとめと今後の活動について | 金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授) |
| | 7 閉講式 | <input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 | |
| | 8 送迎 | <input type="checkbox"/> 送迎 ・今後の活動について等 | |
| 船 員 ・ 伊 佐 地 区 会 場 | 1 開講式 | <input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 | |
| | 2 オリエンテーション | <input type="checkbox"/> 日程説明等 | |
| | 3 講話 | <input type="checkbox"/> 今後の活動への意欲を高めるための講話 | 金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授) |
| | 4 事例発表 | <input type="checkbox"/> 活動実践内容の発表 ・実践事例発表 ・過去受講者による実践発表 ・実践発表に対する質疑応答、意見交換 | ・新田 翔晴子 ・古里 秀人 |
| | 5 フォーラム | <input type="checkbox"/> ワールド・カフェ方式による課題解決のための話し合い | 中央センター職員 (学習推進係) |
| | 6 閉講式 | <input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 | |

(9) 事例発表者・発表内容

| No. | 発表者(敬称略) | 発 表 内 容 | 受講年度 |
|-----|----------|---|------|
| 1 | 新田 翔晴子 | 霧島市で、子育てサロン(「ぼこぼこ」・「すももクラブ」)を立ち上げて、若い母親同士の交流の場を提供し、子育て支援に取り組んでいる。 | H23 |
| 2 | 古里 秀人 | 伊佐市山野地区の「山野を元気にする会」で子供たちの見守りや地域の魅力を「世間遺産」等で発信する活動を行っている。 | H28 |

(4) 地域活性化のための活動テーマ（基礎講座終了時）

| 領域 | 内容 | 人数 |
|---------------------------|--|----------------------------|
| 地域コミュニティの再生 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の企業や団体等を巻き込んだ新たな地域コミュニティ組織の設立 ・全世代参加による地域コミュニティ事業の見直し（全員参加の地域づくり） ・コミュニティ間格差の解消に向けたまち全体の語り合いの場づくり | 3人 |
| 高齢者の見守り | <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用した過疎地域における買い物難民の支援（高齢者の見守り） ・高齢者の安全確認のための交流活動（高齢者同士・若者との交流） ・交通手段のない高齢者が歩いて行ける地域の拠点で住民持ち寄りの朝市を開催 ・高齢者向けサロンの充実（健康体操等の実施） | 4人 |
| 交流・つながり | <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口を呼び込む仕組みづくりと年間を通じた地域イベントの開催 ・地域行事等の継承とコミュニケーションの場づくり（各種団体の横のつながりの強化） | 2人 |
| 人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等を通じた地域の新たな組織づくりと雇用の創出 ・後継者不足により途絶えてしまった郷土芸術職りの復活と世代間の交流、郷土愛の醸成 ・地域の歴史的価値の継承（教育現場への普及） | 3人 |
| 地域素材の活用 （歴史、文化、自然、観光等） | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を再発見するためのまち歩きツアーの実施 ・地域の文化財、自然を巡るサイクリングツアーの企画 ・地域の神社を中心に特産品をアピールするための地域おこしイベントの開催 ・ふるさとの原産地の自然を生かしたウォーキング&クラフト作戦の実施 ・地域の観光メニューを活用したイベント企画 ・地域の文化財を活用したイベントの企画 | 6人 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションや通字路等をはじめとする地域美化活動 ・ひきこもり等で苦しんでいる人が自由に集まれる空間づくり ・食と健康づくりをテーマとした少人数による継続的な活動 ・地域一体となった子供の見守り（健全育成のためのイベント開催） ・国際交流（留学生のホストファミリー）を通じた地域の良さの再発見 | 3人 1人 1人 1人 1人 |

2 生涯学習県民大学講座

(1) 趣旨

多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるため、大学等と連携して、現代的課題等をテーマにした学習機会を提供する。

(2) 主催

中央センター及び開催を希望する市町村教育委員会

(3) 内容

主に現代的課題の解決に資する内容（開催を希望する市町村が抱える課題）等

(4) 概要

ア 会場及び講座数

| 地区 | 市町村数 | 会場数 | 講座数 | 開催市町 |
|--------------|------|-----|------|-----------|
| 鹿児島地区 | 1 | 1 | 2 | いちき串木野市 |
| 南薩地区 | 2 | 2 | 4 | 指宿市、枕崎市 |
| 北薩地区 | 2 | 2 | 4 | 阿久根市、さつま町 |
| 姶良・伊佐地区 | 1 | 1 | 2 | 霧島市 |
| 大隅地区 | | | | |
| 熊毛地区 | 2 | 2 | 4 | 屋久島町、西之表市 |
| 大島地区 | 2 | 2 | 4 | 徳之島町、天城町 |
| かごしま県民交流センター | | | 6 | 鹿児島市 |
| 計 | | | 26講座 | 11市町 |

イ 実施時間

(7) 1講座は、90分程度（質疑応答10分含む。）とする。

(8) 同日に2講座を行うことを基本とする。

ウ 講師

各講座内容に応じた専門家

エ 受講者

県民（募集において受講対象に制限を設けない。）

オ 定員

1講座は、30人程度とする（施設状況に応じて設定）。ただし、2講座を連続して実施する場合であっても受講者の入れ替えは可能とする。

カ 受講料

無料

(5) その他

ア 広報・準備及び運営等は市町村教育委員会と中央センターが協働・分担して行う。

イ 講師の旅費及び謝金は県が負担する。

(6) 講座一覧及び受講者数

| 地区 | テーマ | 講座名 | 講師(敬称略) | 会場 | 期日 | 時間 | 受講者数 |
|--------------|--------|---|---|-----------------------------|--------------|-----------------|-------|
| 鹿角市 | 郷土理解 | 鹿角島の海は知られざる食料の宝庫 | 鹿角島大学水産学部 教授 大塚 潤 | 鹿角市国分 シビックセンター | 6/29 (土) | 10:30～ 12:00 | 267 |
| | 食生活 | デザートから考えてみよう！健康寿命を延ばす生活習慣 | 元鹿角島純心女子大学 教授 柳庭 洋子 | | | 13:30～ 15:00 | 61 |
| いちご産地 新庄市 | 郷土理解 | 青森県産の功績と父業を継いだ子息家久 | 青森県 民間企業 部長 徳本 和喜 | 市東地域公民館 | 7/6 (土) | 10:30～ 12:00 | 111 |
| | 教育・子育て | 子育てが楽しくなるために—アドラー心理学に学ぶ— | 鹿角島純心女子短期大学 教授 河野 一典 | | | 13:30～ 15:00 | 29 |
| 鹿久保町 | 教育・子育て | 誰もが幸せに生きるための人権講座 | 鹿角島盲人福祉研究協議 研修専門員 藤田 豊作 | 鹿久保鹿角 開発センター | 8/22 (土) | 13:30～ 15:00 | 187 |
| | 郷土理解 | 鹿久島の自然史 | 鹿角島大学公共教育センター 専任教授 井村 隆介 | | | 19:00～ 20:30 | 70 |
| 阿久保市 | 介護・看護 | 認知症の人と創る社会 —今、自分と地域ができること— | 元学館大学 教授 藤平 紀代子 | 阿久保市民 交流センター 高千穂ふあ(仮) | 9/21 (土) | 13:00～ 14:30 | 56 |
| | 教育・子育て | 子どもの視野のこと、子育ての視野のこと—発達の違いの視点から— | おがみ大学大学院臨床心理学専攻 特任助教 瀬戸山 悠 | | | 15:00～ 16:30 | 53 |
| さくら町 | 郷土理解 | 西郷どんふりかえり！ さつま町との強いつながり | 元古妻成親 学芸員 小千田 安徳 | 宮之城 ひまわり館 | 10/19 (土) | 10:30～ 12:00 | 35 |
| | 教育・子育て | ベトナム理解講座 | 一般社団法人 鹿角島山崎福祉会 副会長 フウム タロウ、トッ、ソウ | | | 13:30～ 15:00 | 33 |
| 徳之島町 | 食生活 | しっかり食べて、生き生き笑顔の幸せ人生 | 鹿角島純心女子短期大学 専任教授 藤 淳子 | 徳之島町 生涯学習センター | 10/30 (日) | 13:00～ 14:30 | 36 |
| | 教育・子育て | 親子関係と子どものほめ方・叱り方 | 鹿角島大学研究開発教育学系 専任教授 島 義夫 | | | 15:00～ 16:30 | 50 |
| 津島町 | 教育・子育て | 認知症は防げる！楽しく、楽く楽しみ、知る楽しみがたっくん！ | 元学館大学 特任講師 若下 雅子 | 山ノ宮講堂 | 11/2 (土) | 10:30～ 12:00 | 39 |
| | 郷土理解 | 鹿島の郷土史と図書館での郷土資料の活用について | 鹿角島県立図書館 館長 宮口 崇 | | | 13:30～ 15:00 | 66 |
| 花巻市 | 食生活 | デザートから考えてみよう！健康寿命を延ばす生活習慣 | 元鹿角島純心女子大学 教授 柳庭 洋子 | 花巻市市民会館 | 11/25 (日) | 13:00～ 14:30 | 177 |
| | 教育・子育て | 「ちゃん」とさく、「さちゃんと」伝わる | 鹿角島純心女子短期大学 専任教授 森本 雅佳 | | | 15:00～ 16:30 | 45 |
| 西ノ表市 | 郷土理解 | 鹿角島の海は知られざる食料の宝庫 | 鹿角島大学水産学部 教授 大塚 潤 | 西ノ表市民会館 | 12/1 (日) | 10:30～ 12:00 | 31 |
| | 介護・看護 | 認知症の人と創る社会 —今、自分と地域ができること— | 元学館大学 教授 藤平 紀代子 | | | 13:30～ 15:00 | 19 |
| 茨城町 | 地域活性 | 自治会活動の活性化のために ～課題の利からのチャレンジ～ | 鹿角市大野地区公民館 元館長 荻田 清輝 | 茨城町 防災センター | 12/4 (日) | 10:30～ 12:00 | 47 |
| | 教育・子育て | 地域・学校・家庭の連携、協働活動の進め方 ～子供たちの学びや成長が地域の大きな力に～ | 鹿角島県教育行社会教育課 社会教育課長 橋口 盛文 | | | 13:30～ 15:00 | 33 |
| 鹿角島市 | 郷土理解 | 継ぎ子の縁結小僧活の歴史 ～幕末に継ぎ子を持つ父の理想～ | 元古妻成親 学芸員 小千田 安徳 | かごしま県民 交流センター | 8/4 (日) | 10:30～ 12:00 | 22 |
| | 医療・健康 | 夏の「いそは」？あなたは何だれだ計数のことを 知っていますか？ | 元本学大学院生命科学研究科 専任教授 荻野 剛 | | | 13:30～ 15:00 | 32 |
| | 郷土理解 | 刊治口本の産業振興 荻田正名 ～大久保利通の後継者～ | 鹿角島県立図書館 館長 宮口 崇 | | | 10:30～ 12:00 | 55 |
| | 教育・子育て | 子どもとひととの発達性(発達障害)と共に生きる | 長崎大学 副学長 吉田 紗り | | | 13:30～ 15:00 | 47 |
| | その他 | あなたの知らない7リズムの世界 | 鹿角島大学理学部 准教授 藤 浩紀 | | | 10:30～ 12:00 | 39 |
| | 郷土理解 | おもしろいぞ！鹿角島 | NPO法人おつこの地域フォーラム こしとら地産地消 代表理事 菊川 隆太郎 | | | 13:30～ 15:00 | 67 |
| 合計 | | | | | | | 1,707 |

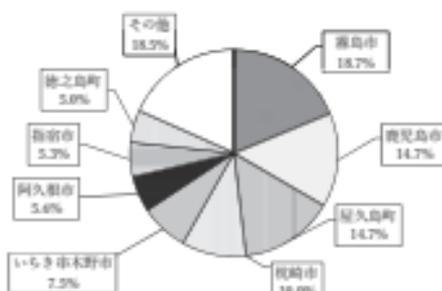
(7) テーマ及び内容別受講者数

| テーマ | 講座内容の要旨 | 講座数 | 受講者数 | 割合 | 合計 | 割合 |
|--------|---------|-----|-------|--------|-------|--------|
| 教育・子育て | 家庭教育 | 5 | 196 | 11.5% | 516 | 39.2% |
| | 特別支援教育 | 2 | 100 | 5.9% | | |
| | 人権教育 | 1 | 167 | 11.8% | | |
| | 国際理解 | 1 | 33 | 1.9% | | |
| 医療・健康 | 介護・看護 | 2 | 75 | 4.4% | 381 | 22.3% |
| | 医療・健康 | 1 | 32 | 1.9% | | |
| | 食生活 | 3 | 274 | 16.1% | | |
| 地域・郷土 | 地域活性化 | 1 | 47 | 2.8% | 771 | 45.2% |
| | 郷土理解 | 9 | 724 | 42.4% | | |
| その他 | 科学 | 1 | 39 | 2.3% | 39 | 2.3% |
| 合 計 | | 26 | 1,797 | 100.0% | 1,797 | 100.0% |



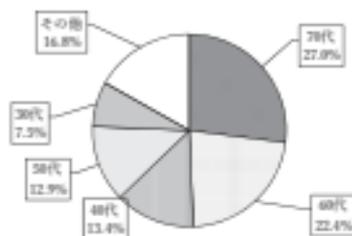
(8) 市町村別受講者数

| № | 市町村 | 受講者数 | 割合 |
|-----|---------|-------|--------|
| 1 | 瀬島市 | 320 | 18.7% |
| 2 | 豊見島市 | 251 | 14.7% |
| 3 | 屋久島町 | 251 | 14.7% |
| 4 | 枕崎市 | 171 | 10.0% |
| 5 | いらき市本野市 | 128 | 7.5% |
| 6 | 阿久根市 | 96 | 5.6% |
| 7 | 清原市 | 91 | 5.3% |
| 8 | 徳之島町 | 86 | 5.0% |
| 9 | 大城町 | 68 | 4.0% |
| 10 | さつま町 | 54 | 3.2% |
| 11 | 西之表市 | 49 | 2.3% |
| 12 | 日置市 | 16 | 0.9% |
| 13 | 藤原川内市 | 13 | 0.7% |
| 14 | 清さつま市 | 12 | 0.7% |
| 15 | 出水市 | 10 | 0.6% |
| 16 | 清九州市 | 10 | 0.6% |
| 17 | 船高市 | 7 | 0.4% |
| 18 | 豊原市 | 5 | 0.3% |
| 19 | 伊仙町 | 4 | 0.2% |
| 20 | 南種子町 | 3 | 0.2% |
| 21 | 甘島町 | 2 | 0.1% |
| 22 | 伊佐市 | 1 | 0.1% |
| 23 | 喜多市 | 1 | 0.1% |
| 24 | 瀬光町 | 1 | 0.1% |
| 25 | 宮崎県小林市 | 1 | 0.1% |
| 26 | 無回答 | 60 | 3.9% |
| 合 計 | | 1,797 | 100.0% |



(9) 年代別受講者数

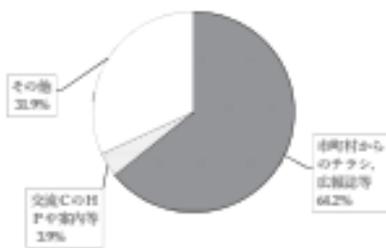
| 年齢 | 合計 | 割合 |
|-------|--------|--------|
| 10歳未満 | 2 | 0.1% |
| 10代 | 7 | 0.4% |
| 20代 | 25 | 1.5% |
| 30代 | 128 | 7.5% |
| 40代 | 229 | 13.4% |
| 50代 | 221 | 12.9% |
| 60代 | 362 | 22.4% |
| 70代 | 461 | 27.0% |
| 80歳以上 | 82 | 4.8% |
| 不明 | 170 | 10.0% |
| 合計 | 1,797 | 100.0% |
| 割合 | 100.0% | |



00 講座の情報源について

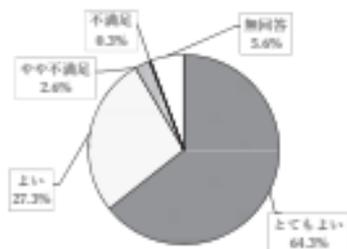
| 会場市町 | 会場 数 | 交 流 C | 相 対 的 人 数 | 合 計 |
|---------|---------|-------------|-----------------------|--------|
| 高崎市 | 163 | 3 | 85 | 251 |
| いらすと本野市 | 92 | 10 | 30 | 132 |
| 加久基町 | 94 | 0 | 34 | 128 |
| 阿久根市 | 41 | 1 | 42 | 84 |
| つづみ町 | 53 | 1 | 8 | 62 |
| 基文基町 | 71 | 2 | 25 | 98 |
| 新居市 | 44 | 2 | 22 | 68 |
| 桂野市 | 133 | 2 | 67 | 202 |
| 西之表市 | 35 | 0 | 5 | 40 |
| 大城町 | 21 | 3 | 18 | 42 |
| 交流センター | 115 | 29 | 92 | 236 |
| 合 計 | 862 | 53 | 429 | 1,343 |
| 調 査 | 84.2% | 4.9% | 31.9% | 100.0% |

※複数回答による



01 講座の評価(受講者へのアンケート結果から)

| 項 目 | 人数 | 割合 |
|-------|-------|--------|
| とてもよい | 752 | 64.3% |
| よい | 219 | 27.3% |
| やや不満足 | 30 | 2.6% |
| 不満足 | 3 | 0.3% |
| 無回答 | 66 | 5.6% |
| 合 計 | 1,170 | 100.0% |



02 学習の理由

| 項 目 | 人数 | 割合 |
|-------------|-------|--------|
| 教養 | 269 | 17.6% |
| 家庭や日常生活に生かす | 265 | 17.6% |
| 健康の維持・増進 | 258 | 17.3% |
| 地域・社会活動 | 288 | 13.9% |
| 他人との関係 | 213 | 10.3% |
| 仕事上の必要性 | 195 | 9.4% |
| その他 | 152 | 7.3% |
| 無回答 | 130 | 6.3% |
| 合 計 | 2,070 | 100.0% |

※複数回答による



3 かごしま県民大学連携講座

(1) 概要

ア 趣旨

多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるために、大学等の教育機関、市町村等の公的機関、民間の団体等と中央センターが連携して、生涯学習の機会を広く提供するために公開講座等を実施する。

イ 対象者

県民(年齢は問わない。)

ウ 連携可能な機関・団体等

次のいずれかに該当するもの。

- ・ 大学、短期大学、高等専門学校、専修・各種学校
- ・ 国・県及び市町村等の公的機関
- ・ 鹿児島県内に主たる事務所を有する民間教育機関の事業者
- ・ 鹿児島県内に主たる事務所を有する生涯学習の推進に資するNPO法人
- ・ 中央センター主催講座修了生等が結成した自主活動グループ
- ・ その他、生涯学習の推進に資する団体

エ 申請できる講座の条件

- ① 広く県民一般を対象としたものであること。
- ② 次の項目のいずれかに該当するものであること。
 - ・ 県民の多様化・高度化するニーズに対応した内容
 - ・ 独自性・専門性を生かした高度で専門的な内容
 - ・ 中央センターが必要と認める内容
- ③ 次の項目のいずれにも該当しないものであること。
 - ・ 営利を目的とする内容を含むもの(事業や物品の広報、人材の勧誘や募集活動を含む。)
 - ・ 特定の政党、宗教、宗派の利害を目的とした内容を含むもの
 - ・ 公序良俗に反する内容を含むもの
- ④ 公演(演奏会、演劇等)に類する講座については、認めない。
- ⑤ 中央センターが設定したテーマに沿った内容の講座であること。
- ⑥ 人材育成講座受講修了後講座を開設する場合は、原則通算3年を上限とする。

オ 会場

交流センター及びその他の会場

カ 会場使用料

交流センターを使用する場合は、「かごしま県民交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則第9条第1項第1号」により使用料全額免除とする。その他の会場で開催する場合は、申請者の負担とする。

キ 受講料

受講料は、著しく高額とならないことを基本とし、中央センターとあらかじめ協議を行って決定する(必要な材料費、テキスト代等の実費は、受講者負担とすることができる)。

ク 開催時間等

連携講座実施機関の設定した時間(但し、交流センターの閉館日を除く。)

(2) 講座内容等一覧

ア 大学等

| No. | 実施機関 | No. | 講座名 | 期 日 | 回 | 会 場 | 定員 | 受講者数 | |
|-----|----------------------------|-----|--|-----------------------------|----|-----------------|--------------------|------|-----|
| | | | | | | | | 小計 | 合計 |
| 1 | 鹿児島体育大学 | 1 | 健康づくり-介護予防講座 -歩く脚の運動-ステップ- | 10月11日(金) ～ 10月25日(金) | 3 | 実習センター 松西制作室 | 各 30 | 73 | 73 |
| 2 | 鹿児島国際大学 | 2 | 鹿児島の歴史や文化郷土の先人について の講座 「鹿児島歴史の旅」 | 2月29日(土) ●中止 | 1 | 実習センター 大ホール | 400 | - | - |
| 3 | 第一工業大学 | 3 | 先端的现代物理講座 -素粒子物理学から現代宇宙論まで- | 4月27日(土) ～ 8月24日(土) | 5 | 実習センター 研修室他 | 各 50 | 71 | 71 |
| 4 | 志学館大学 | 4 | 我、ここにあり。鹿児島ゆかりの女流歌人・ 作家 | 5月25日(土) ～ 8月31日(土) | 5 | 大学構内 | 各 30 | 46 | 46 |
| 5 | 鹿児島純心女子大学 | 5 | おみやが健康栄養教室 | 9月28日(土) ～ 11月30日(土) | 5 | 大学構内 | 各 40 | 78 | 78 |
| 6 | 鹿児島県立短期大学 | 6 | これからビジネスはどうなるのか -情報化-グローバル化-地域活性化- | 5月25日(土) ～ 7月13日(土) | 8 | 短大構内 | 各 60 | 206 | 206 |
| 7 | 鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター | 7 | 「かごしま学」公開講演「文化講演会「島 明に見る奄美の女性像」 | 6月27日(木) | 1 | 短大構内 | 200 | 180 | 236 |
| | | 8 | シルバー世代のための健康 教養講座 | 7月12日(土) ～ 9月14日(土) | 5 | 実習センター 小研2他 | 各 30 | 56 | |
| 8 | 鹿児島女子短期大学 | 9 | すこやか子育て支援講座 | 9月11日(水) ～ 2月12日(水) | 5 | 短大構内 | 親子 30 組 | 96 | 314 |
| | | 10 | ふしと文化公開講座 | 10月5日(土) | 4 | 短大構内 | 各 50 - 30 | 126 | |
| | | 11 | 高齢者の健康づくり講座 | 7月5日(金) ～ 10月24日(木) | 4 | 短大構内 | 各 30 | 92 | |
| 9 | 放送大学鹿児島学習センター | 12 | 放送大学鹿児島学習センター公開講演会 及び公開講座 | 7月4日(日) ～ 2月16日(日) | 10 | 放送大学 | 各 80 | 570 | 640 |
| | | 13 | 奄美大島地域における放送大学鹿児島学 習センター公開講座 | 5月12日(日) ～ 11月17日(日) | 3 | 鹿児島県庁他 | 各 40 | 70 | |
| 10 | 鹿児島工業高等専門学校 | 14 | 生活の中の工学シリーズ | 6月1日(土) ～ 11月23日(土) | 3 | 実習センター 小研修室3 | 各 40 | 16 | 16 |

イ 行政機関等

| No. | 実施機関 | No. | 講座名 | 期 日 | 回 | 会 場 | 定員 | 受講者数 | |
|-----|----------------|-----|---------------------------------|----------|---|---------------|---------|------|-----|
| | | | | | | | | 申込 | 合計 |
| 11 | 国立青少年研修センター | 15 | クラフ活動 見血クラフト アロマスリコナーズ作り | 8月17日(土) | 2 | 実業センター 工芸室 | 各 40 | 77 | 153 |
| | | | | 12月8日(日) | 2 | | | 76 | |
| 12 | 国立選果自然ふれあいセンター | 17 | レーザークラフトに挑戦しよう! 「レーザークラフト入門」 | 2月16日(日) | 2 | 実業センター 工芸室 | 各 40 | 41 | 41 |
| 13 | 国立南関東少年自然の家 | 18 | 吹上浜の砂でサンドグラス | 1月18日(土) | 1 | 実業センター 工芸室 | 30 | 40 | 40 |

ウ 教育団体

| No. | 実施機関 | No. | 講座名 | 期 日 | 回 | 会 場 | 定員 | 受講者数 | |
|-----|------------------|-----|--|----------|---|-----------------|-----|------|----|
| | | | | | | | | 申込 | 合計 |
| 14 | 鹿児島県マルチメディア教育研究会 | 19 | メディア教育セミナー2019 「ICTを活用した校務の情報化」 | 8月8日(水) | 1 | 実業センター 大ホール | 100 | 51 | 51 |
| 15 | 鹿児島県視覚教育研究協議会 | 20 | 鹿児島県放送教育 情報教育研究会セミ ナー 放送番組を生かしたプログラミング教 育」 | 2月14日(金) | 1 | 実業センター 制作演習室 | 80 | 19 | 19 |

エ NPO法人

| No. | 実施機関 | No. | 講座名 | 期 日 | 回 | 会 場 | 定員 | 受講者数 | |
|-----|---------------|-----|-------------------|---------------------------|---|----------------|---------|------|-----|
| | | | | | | | | 申込 | 合計 |
| 16 | かごしま道伝子活用普及協会 | 21 | からだの健康・病氣と道伝子 | 7月27日(土) | 5 | 実業センター 小研3他 | 各 30 | 114 | 114 |
| | | | | 10月26日(土) | | | | | |
| 17 | global | 22 | とりにこする英語ガイド-西郷隆盛編 | 4月26日(金) ～ 6月28日(金) | 3 | 実業センター 小研2他 | 各 30 | 22 | 22 |

オ 自主グループ等

| No. | 実施機関 | No. | 講座名 | 期 日 | 回 | 会 場 | 定員 | 受講者数 | |
|-----|----------------------|-----|---------------------------|----------|---|-----------------|---------|------|-----|
| | | | | | | | | 申込 | 合計 |
| 18 | らくらくピアノの会 | 23 | 中高年から始めるらくらくピアノ | 5月20日(水) | 2 | 実業センター スタジオ | 各 15 | 21 | 21 |
| | | | | 6月13日(木) | | | | | |
| 19 | 雨天流天吹塾 | 24 | 簡単な伝統楽器天吹を自作し音色を楽し む | 5月22日(水) | 5 | 実業センター スタジオ他 | 各 15 | 71 | 71 |
| | | | | 7月24日(水) | | | | | |
| 20 | 成音会 | 25 | マイブタンで弾き鳴らす (鹿児島の伝統楽器) | 6月1日(土) | 5 | 実業センター スタジオ他 | 各 12 | 93 | 93 |
| | | | | 7月1日(土) | | | | | |
| 21 | 人材育成修了者による生 産学習講座 | 26 | 語ってみませんか 「かごしま弁」 | 8月4日(日) | 3 | 実業センター 小研1他 | 各 20 | 179 | 179 |
| | | | | 2月16日(日) | | | | | |
| 22 | 人材育成修了者による生 産学習講座 | 27 | 第3回あなたに優しい心理学 | 5月18日(土) | 5 | 実業センター 小研1他 | 各 20 | 51 | 51 |
| | | | | 2月1日(土) | | | | | |

カ ア～オの総計

講座数 27 講座講座回数 99 回受講者数 2,555 人

(3) 成果・課題及び受講者の感想(各団体実施報告書からの抜粋)

ア 成果

- ・ 受講後のアンケートでは、「気象の知識を詳しく話していただき、とても勉強になった。」「気象観測技術(気象衛星ひまわり他)の進歩に驚いた。」「災害は忘れぬうちにやってくる”を胸に刻んで、”自分の命は自分で守る”必要性を実感した。」「もう一度受講したいと思う講演でした。」等々の声をいただき、十分満足のいく内容だったようである。
- ・ 現代物理学と宇宙論の最先端理論が導かれる過程を解説した。受講者が高等学校の物理の教員からネットやテレビで話を聞いたことがある程度の方まで、さまざまなレベルの方が受講されたが、天降り的な説明にならないように必要に応じて数式を使いながら、なおかつ数式の意味を概念的に説明しなおすことで、レベルに応じて全体が理解できるよう努めた。アンケートを見ると、その狙いはかなり達成できたように感じる。
- ・ 参加者にいろいろな自然物に触れながら作品作りを楽しんでもらうために、木の枝や実などの自然物を多く準備したことで、自由な発想による工夫された作品がたくさん完成し、参加者も満足していた。より多くの親子に参加してもらうために、開催時刻を夏休み中にしたこと、前年度より多い応募があった。

イ 課題

- ・ 講演会当日の地元の新聞を見て参加した方が多くみられた。今後も効果的な広報活動に努めていきたい。今後も地域のニーズに応える講座テーマの設定と、受講者増につながるより一層の広報活動が必要であると考ええる。
- ・ 本講座の内容は、大学院の博士課程で学ぶような素粒子物理学を対象にしており、5回の講座で詳細を説明できるものではなく、理論の大枠を示したに過ぎない。受講者の一部からさらに詳細を学びたいとの希望が出ており、その受講者(高校物理教員)から現代物理の勉強会を立ち上げたいので参加してほしいとの勧誘があり、中学・高校・高専の教員とともに参加することになった。今後の具体的な活動内容は検討中である。
- ・ フィールドワークもあるため天候不順などの影響も出てくるが、今後とも参加者の安全を第一に考え対応していきたい。

(4) 講座の様子



「ボタン製作」
(成音会)



「からだの健康・病気と遺伝子」
(遺伝子活用普及協会)



「レザークラフトに挑戦しよう」
(県立湯島自然ふれあいセンター)



「これからビジネスはどうなるのか
～情報化・グローバル化・地域活性化～」(県立短期大学)



「先端的現代物理講座～素粒子物理学から現代宇宙論まで～」
(第一工業大学)



「我、ここにあり。～鹿児島ゆかりの女流歌人・作家～」
(志学館大学)

(5) 総括

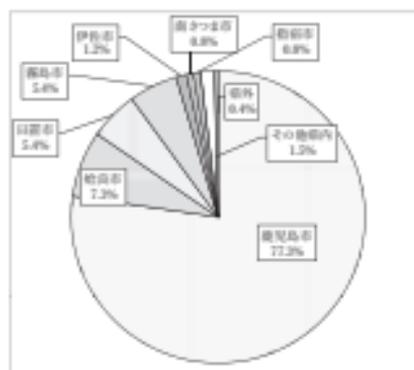
ア 聴講生、講師、受講者の数

| 聴講先 | 聴講先件数 | 講座数 | 実施回数 | 受講者数 | |
|--------|--------|-----|------|-------|-----|
| 大学等 | 大学 | 5 | 5 | 18 | 288 |
| | 短期大学 | 3 | 6 | 27 | 756 |
| | 放送大学 | 1 | 2 | 13 | 640 |
| | 高等専門学校 | 1 | 1 | 3 | 16 |
| 行政機関等 | 他 | 3 | 4 | 7 | 234 |
| | 市町村 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 公益財団法人 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 民間教育機関 | 2 | 2 | 2 | 70 | |
| NPO法人 | 2 | 2 | 8 | 136 | |
| 自主グループ | 5 | 5 | 20 | 415 | |
| 合計 | 22 | 27 | 98 | 2,555 | |

イ 受講の状況(居住市町村別の受講者数)

| 市町村等 | 講座の実施時間単位受講者数 | | | | | 居住市町村別受講者数 | |
|--------|---------------|------|-------|-------|------|------------|--------|
| | 平日 | | 土曜日 | 日曜日 | 土日連続 | 合計 | 割合 |
| | 朝間 | 夜間 | 昼間 | 夜間 | | | |
| 鹿児島市 | 53 | 0 | 66 | 82 | 0 | 201 | 7.9% |
| 指宿市 | 2 | 0 | 2 | 15 | 0 | 19 | 7.3% |
| 日置市 | 0 | 0 | 5 | 9 | 0 | 14 | 5.4% |
| 瀬辺市 | 4 | 0 | 1 | 9 | 0 | 14 | 5.4% |
| 伊佐市 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 | 1.2% |
| 薩ふたつま市 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0.8% |
| 指原市 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0.8% |
| その他県内 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 4 | 1.5% |
| 県外 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.4% |
| 合計 | 62 | 0 | 81 | 117 | 0 | 260 | 100.0% |
| 割合 | 23.8% | 0.0% | 31.2% | 45.0% | 0.0% | | |

※ 交流センター会場の受講者から抽出したモニター結果



ウ 講座情報入手の状況

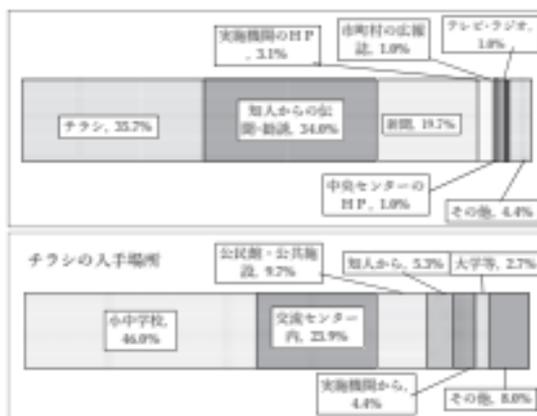
(ア) 広報媒体別回数割合

| 広報媒体 | 回数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| チラシ | 105 | 35.7% |
| 知人からの広聴・勧誘 | 100 | 34.0% |
| 新聞 | 58 | 19.7% |
| 実施機関のHP | 9 | 3.1% |
| 市町村の広報誌 | 3 | 1.0% |
| 交流センターのHP | 3 | 1.0% |
| テレビラジオ | 3 | 1.0% |
| その他 | 13 | 4.4% |
| 合計 | 294 | 100.0% |

(イ) チラシの入手場所別回数割合

| 場 所 | 回数 | 割合 |
|----------|-----|--------|
| 小中学校 | 52 | 46.0% |
| 交流センター内 | 27 | 23.9% |
| 公民館・公共施設 | 11 | 9.7% |
| 知人から | 6 | 5.3% |
| 実施機関から | 5 | 4.4% |
| 大学等 | 3 | 2.7% |
| その他 | 9 | 8.0% |
| 合計 | 113 | 100.0% |

※ 交流センター会場の受講者から抽出したモニター結果



4 メディア研修講座

(1) 概要

ア 趣旨

(i) 地域リーダー-指導者等対象研修講座

生涯学習の指導者や指導補助者として教育メディアを活用できる人材育成のため、チーフづくりや名簿作成、情報セキュリティとセキュリティアなどの講義・実習等を通して、資料作成や情報発信に役立つ知識・技術の習得を図る。また、地域活性の一助となるよう工夫する。

(ii) 教育関係者対象講座

学校や市町村で教育の情報化に対応できる指導者を養成するため、コンピュータ等のICT機器を用いた教材の制作や活用に関する講義・実習等を通して、学習指導法の改善や学習指導力の向上を図る。

イ 主催

中央センター

ウ 指導者

中央センター指導主事等

エ 場所

交流センター（西棟5F制作演習室）

(2) 講座内容・実施状況

ア 地域リーダー-指導者等対象研修講座 4講座

| No | 研修講座名 | 期 日 | 主 な 内 容 | 日 数 |
|------------------------|-------------------------------|-----------|-------------------------------------|-----|
| 1 | 文書・チラシ作成講座 ～地域活動に生かす～ | 6月8日（土） | ・MS-Wordを活用した広報文書・チラシの作成のポイントと作成の実践 | 5 |
| 2 | 名簿・会計簿作成講座 ～地域活動に生かす～ | 11月9日（土） | ・MS-Excelを活用した名簿や会計簿作成のポイント、作成の実践 | 12 |
| 3 | 情報セキュリティとセキュリティア講座～ネット社会の歩き方～ | 8月3日（土） | ・情報セキュリティや情報セキュリティの理解と実践、講師による講演 | 13 |
| 4 | スマホ・タブレット活用講座 ～地域活動に生かす～ | 10月12日（土） | ・スマホやタブレットを活用した情報発信の方法と実践 | 8 |
| 地域リーダー-指導者等対象研修講座受講者合計 | | | | 38 |

イ 教育関係者対象講座 3講座

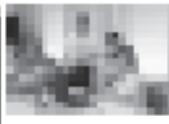
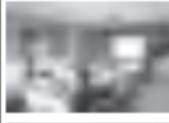
| No | 研修講座名 | 期 日 | 主 な 内 容 | 日 数 |
|----------------|----------------------------------|---------------------|--|-----|
| 1 | 教育メディア担当者研修会 | 5月24日（金） | ・教育メディア・指導者等の活用促進 ・情報セキュリティの講習 ・視覚教材管理システムの利用法 | 12 |
| 2 | 教育メディア活用講座 ～23日（金） 2日連続講座～ | 8月22日（木） ～23日（金） | ・教育メディア総論 ・マルチメディアも活用した教材制作 ・タブレット地活用した実践 | 10 |
| 3 | タブレット・スマホで情報発信 ～地域素材を生かす～ | 11月15日（金） | ・映像素材の活用 ・撮影・編集の実践 ・生涯学習と映像利用 | 4 |
| 教育関係者対象講座受講者合計 | | | | 26 |

ウ 関係機関・団体との連携講座（かごしま県立大学連携講座両席）

| | | | | |
|--------------------|---------------------------------------|----------|---|-----|
| 1 | メディア教育セミナー 2019 （鹿児島県マルチメディア教育研究会） | 8月8日（木） | ・情報教育に関するセッション ・情報教育に関する講演 ・情報教育指導の事例発表 | 51 |
| 2 | 鹿児島県放送教育・情報教育研究会セミナー（鹿児島県視聴覚教育研究協議会） | 2月14日（金） | ・放送教育・情報教育に関する講演、実践発表、ワークショップ等 | 19 |
| 関係機関・団体との連携講座受講者合計 | | | | 70 |
| メディア研修講座合計 | | | | 134 |

③ 受講者の感想等

ア 県民対象研修講座

| | |
|---|---|
| <p>① 文書・チラシ作成講座～地域活動に生かす～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やイラストの挿入がわかりやすくとても勉強になりました。教え方が丁寧でした。今回勉強したいことが学べてよかったです。 ○ 今年一年町内会の回覧板をつくるのに役立てたいです。テキストがとてもわかりやすいです。 ○ 地域、公民館講座、ボランティア等で生かしていきたい。 ○ ワードアートの挿入、写真やイラストの挿入、ドロップキャップの設定等これからの活用によって興味をひく文書が作成できるといった。 |  |
| <p>② 名簿・資料制作講座～地域活動に生かす～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エクセルの合計、平均、SUM関数のやり方が上がった。 ○ サポーターの方がとても気さくに話しかけて下さりワックスできました。 ○ エクセルに遊べないと気が引けるとして使えるように仲間の方々に伝えていきたいです。 |  |
| <p>③ 情報セキュリティ講座～ネット社会の歩き方～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分では情報を発信しているつもりはなくても気付かないうちに発信していることがないよ気に付けて使いたい。 ○ 疑問に思ったらそのままにせず調べてから使用する。当たりのことですが心にためておきたいと思えます。 ○ まずは家族に伝えて知識の共有をしたい。職場の方々にも教えたい。 ○ ネットリテラシーについての話を聞くことができてよかったです。 |  |
| <p>④ スマホ・タブレット活用講座～地域活動に生かす～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Instagramの使い方は理解できたが、注意すべき点も理解できた。地域コミュニティで活用したい。 ○ 著作権等についても詳しく教えてもらい、学ぶことができた。 ○ タブレットを使ったSNSの実践が勉強になった。 ○ プレゼン（PowerPoint）の効果的活用術がよくなった。 |  |

イ 教育関係者対象研修講座

| | |
|--|--|
| <p>① 教育メディア担当者研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的なところを理解していなかったのもとても勉強になりました。社会教育の視点が自分にとって不十分でしたので特に参考になりました。 ○ 求められる役割においては、まだまだ不十分な点が多いと思って反省したところでした。自分は情報社会に追いつけず多様化する中、勉強することが大事だということ、関心・活用に関心があればと考えました。昨年、初めて県視聴覚ライブラリーのことを知り、この一年間少しづつ借出してきました。今後もどんどん活用させていただきたいと思っています。 ○ 講師の検索、教材の予約などさまざまな機会を活用し、市内の学校等へも案内していきたいと思えます。 ○ 他市町の状況を共有できて良かった。取組を参考にさせていただき、視聴覚教材の活用促進を図りたい。 |  |
| <p>② 教育メディア活用講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 早速2学期からの授業の中で使用できる資料を頂くことができました。じっくり研修に取り組むことで、ツールを使いこなす機会を持つことができてよかったです。 ○ 来年度のプログラミング教育の実施に向けねらいや目的を明確にさせ実践につなげられるよう工夫していきたい。 ○ 知っていると思っていたデジタルカメラ操作法なども奥が深くまだまだだと思いました。又、教育メディアの様々な手法を基本的なところから応用方法まで教えていただいたので、ぜひ実践し教育活動に生かしていきたいです。 ○ 改めて画像や動画の編集の仕方を学べてよかったです。学校の機器を使ってできることを試してみようと思えます。 |  |
| <p>③ タブレット・スマホで情報発信～地域素材を生かす～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SNSの活用方法など、改めて今後どんどん活用すべきツールだと思える内容であった。受講して良かった。 ○ 他の職員にも共有して、HPの更新やSNSの活用など検討していきたい。 ○ 課内で協議し、町民にSNS等で情報発信できないか検討したい。 ○ 今からの社会のとても大切なことだと感じた。 |  |

5 市町村等メディア研修支援

(1) 趣 旨

市町村等が実施する情報モラルや情報セキュリティ、情報機器活用等に関する研修へ職員を派遣し、市町村等における教育メディア活用の促進と教育的課題の解決を図る。

(2) 主 催

県内市町村等

(3) 派遣する職員

かごしま県民大学中央センター指導主事等

(4) 場 所

県内各市町村等の会場

(5) 派遣する研修の種類

ア 情報モラル・情報セキュリティに関する研修

イ 映像活用（ビデオ撮影・編集、デジタルカメラ撮影・編集）に関する研修

ウ 教育メディア活用に関する研修

(6) 派遣方法

ア 派遣を希望する場合は、事前にかごしま県民大学中央センター学習情報係と日時・内容等を調整する。

イ 派遣決定後、かごしま県民大学中央センター所長宛へ文書にて派遣依頼を送る。

ウ 派遣に掛かる旅費は、市町村が負担

(7) 令和元年度派遣状況

| | 日時 | | 支援市町村(団体) | 研修会名称等 |
|----|----|----|----------------|---------------------------------|
| | 月 | 日 | | |
| 1 | 4 | 23 | 県議会事務局 | 写真撮影技術講習会 |
| 2 | 6 | 8 | 志布志市立伊崎田小学校 | プログラミング教育第1回親子セミナー |
| 3 | 7 | 12 | 錦江町教育委員会 | 令和元年度錦江町情報モラル講演会 |
| 4 | 7 | 13 | 鹿児島県視聴覚教育研究協議会 | 第1回定例会「情報モラル教育」 |
| 5 | 8 | 8 | 大鵬地区4市5町教育委員会 | 大鵬地区教育メディア研修(初級) |
| 6 | 11 | 10 | 霧島市メディアセンター | プログラミング教育第2回親子セミナー |
| 7 | 11 | 13 | さつま町PTA連絡協議会 | 令和元年度さつま町PTA連絡協議会 第2回父親母親研修会 |
| 8 | 11 | 24 | さつま町社会教育課 | 令和元年度生徒学習講座 「情報セキュリティ講座」 |
| 9 | 11 | 26 | 薩摩川内市視聴覚フイブリー | 令和元年度「パソコンによるビデオ編集講座」 |
| 10 | 2 | 16 | 鹿児島大学教育学部 | プログラミング教育第3回親子セミナー |

* 未所研修等による支援は省く

(8) 成果と課題(○…成果 課題…▲)

- 情報モラル関係の講座では、インターネットを使用中に起こる様々な課題等を、子供たちに自分の事としてとらえさせるための工夫について、保護者や教育関係者等に考えてもらいよい機会となった。
- プログラミング教育親子セミナーでは、プログラミング教育について、親子での体験を通して、理解を深めてもらうことができた。
- ビデオ編集講座では、市の職員と連携することで、受講生の質問に対し個々に対応できたので、計画どおりに研修講座を進めることができた。
- ▲ 市町村等の様々なニーズに応えられるように情報収集及び教材開発を先取りして進めていく必要がある。

6 来所研修

(1) 趣旨

教育メディアに関する研究テーマや課題をもったグループ・団体又は個人が来所して、職員の手導・助言のもとに、理論研究や操作演習を通して問題解決を図り、併せて教育メディアの利用促進を図る。

(2) 対象及び内容

ア 自主グループによる来所研修

① 中央センターで実施しているビデオやパソコンに関する講座を受講した人を中心に活動しているグループを対象とする。

② 令和2年3月現在、4グループが自主的に活動している。
(ビデオ関係2グループ・パソコン関係2グループ)

イ 県民による個人での来所研修

① 原則として中央センターの講座修了者を対象とする。

② 電話や文書で事前に所属名・研修者氏名・研修内容を確認し、来所研修申込みを受け付ける。

ウ 学校教育・社会教育関係者による来所研修

① 電話や文書で事前に所属名・研修者氏名・研修内容を確認し、来所研修申込みを受け付ける。

② 部活動や学級活動など児童生徒が来所研修する場合は、顧問の教員や担当者の同伴を条件とする。

(3) 実施日

原則として、開館日の午前9時～午後5時とする。ただし、休館日・研修講座開館日・業務に支障をきたす恐れのある日は除く。

(4) 成果

ア 地域社会への貢献

各地域の美しい自然や優れた伝統芸能・地域行事等を映像化して、地域公民館や学校・教育関係等へ提供している。

イ 指導者・サポーターとしての貢献

各市町村で行われる研修会等での指導者や中央センターで行う講座のサポーターとして活躍している。

ウ 県及び全国視聴覚教材コンクールへの出品

来所研修をしている方が制作したビデオ作品やパソコン教材が、県自作視聴覚教材コンクールに毎年多数応募されている。全国のコンクールに出品し、ここ数年高い評価を得ている。

エ 自主グループ発表会「ふれあいメディアフェスティバル」の実施

自主グループの日頃の活動の様子や成果を発表し合い、お互いの交流や視察を図ることにより、メディア教育に関する知識や技術の向上が図られている。

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| H15 | - | 124 | 91 | 164 | 147 | 190 | 315 | 166 | 73 | 136 | 212 | 50 | 1,668 |
| H16 | 176 | 160 | 210 | 247 | 108 | 126 | 186 | 131 | 116 | 107 | 216 | 184 | 1,967 |
| H17 | 118 | 236 | 368 | 434 | 158 | 244 | 245 | 178 | 107 | 264 | 446 | 146 | 2,944 |
| H18 | 119 | 137 | 243 | 250 | 427 | 275 | 248 | 311 | 139 | 198 | 165 | 213 | 2,725 |
| H19 | 199 | 147 | 205 | 273 | 358 | 280 | 244 | 313 | 205 | 275 | 239 | 232 | 2,970 |
| H20 | 270 | 152 | 206 | 387 | 188 | 265 | 296 | 266 | 201 | 275 | 349 | 147 | 3,002 |
| H21 | 272 | 166 | 295 | 294 | 265 | 197 | 296 | 393 | 218 | 320 | 323 | 193 | 3,212 |
| H22 | 154 | 135 | 245 | 206 | 152 | 146 | 229 | 244 | 108 | 174 | 238 | 183 | 2,214 |
| H23 | 176 | 174 | 202 | 207 | 150 | 151 | 280 | 318 | 375 | 137 | 355 | 102 | 2,627 |
| H24 | 291 | 205 | 271 | 218 | 175 | 234 | 249 | 274 | 213 | 223 | 359 | 117 | 2,829 |
| H25 | 198 | 167 | 230 | 171 | 123 | 207 | 156 | 181 | 115 | 201 | 119 | 59 | 1,927 |
| H26 | 226 | 190 | 101 | 141 | 122 | 151 | 188 | 177 | 143 | 165 | 164 | 59 | 1,827 |
| H27 | 151 | 177 | 80 | 142 | 34 | 143 | 106 | 234 | 124 | 142 | 158 | 87 | 1,586 |
| H28 | 83 | 82 | 180 | 77 | 41 | 111 | 112 | 167 | 94 | 180 | 158 | 42 | 1,327 |
| H29 | 135 | 87 | 145 | 96 | 39 | 122 | 143 | 146 | 136 | 189 | 115 | 65 | 1,418 |
| H30 | 151 | 122 | 89 | 67 | 50 | 93 | 122 | 118 | 100 | 61 | 169 | 68 | 1,210 |
| R 1 | 86 | 99 | 65 | 111 | 74 | 100 | 60 | 85 | 67 | 79 | 58 | 10 | 894 |

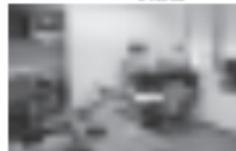
表 オープン当初からの来所研修による利用状況(令和2年3月31日現在)



制作演習室



パソコン演習室



ビデオ編集室

Ⅲ 学習情報の提供

1 学習成果発表の場の提供

(1) 生涯学習団体等の作品展(生涯学習ふれあい展示)

ア 趣旨

県民が生涯学習として取り組んでいる創作・文化活動の成果を発表する場を提供するとともに生涯学習に取り組む団体・個人の交流を促進し、本県の生涯学習のより一層の振興を図る。

イ 令和元年度かごしま県民大学「生涯学習ふれあい展示」実施団体一覧

| 期 日 | 実施団体名 | 所属 市町村等 | 展 示 内 容 |
|---|----------------------------|------------|----------------------|
| 第1回 令和元年 6月5日(水) ～ 6月16日(日) <12日間> | 1 垂水エコクラブ手芸 | 垂水市 | 手芸 |
| | 2 県立青少年研修センター | 鹿児島県 | パネル、クラフト |
| | 3 美明 | 鹿児島市 | 絵手紙、布細工 |
| | 4 上之國紀子 押花クラブアート教室 | 鹿児島市 | 押花、グラスアート、 ハーバリウム |
| | 5 精神保健福祉ボランティア サークルゆめの実 | 鹿児島市 | 絵画、写真、文集 |
| | 6 城西写友会 | 鹿児島市 | 写真 |
| 第2回 令和元年 10月23日(水) ～ 11月3日(日) <12日間> | 7 中央絵手紙友の会 | 鹿児島市 | 絵手紙 |
| | 8 朱い実 | 鹿児島市 | 絵手紙 |
| | 9 NPO 鹿児島酒を愛する会 | 鹿児島市 | 写真 |
| | 10 放送大学かごしま学習セン ター | 国 | パネル |
| | 11 県立南薩少年自然の家 | 鹿児島県 | パネル、クラフト |
| 第3回 令和元年 11月20日(水) ～ 12月1日(日) <12日間> | 12 武岡デジカメ同好会 | 鹿児島市 | 写真A4 |
| | 13 ベーバーフラワー 宮路慶子教室 | 西之表市 | ベーバーフラワー |
| | 14 社団法人鹿児島市母子寡婦 福祉会 | 鹿児島市 | 小物、絵画、書道 |
| | 15 フォトフレンズたるみず | 垂水市 | 写真 |
| | 16 県立霧島自然ふれあいセン ター | 鹿児島県 | パネル、クラフト |
| | 17 薩摩川内市教育委員会上飯 島教育課 | 薩摩川内市 | 写真、絵画、書道、 俳句 |

ウ 各回の展示の様子

【第1回ふれあい展示の様子】



【第2回ふれあい展示の様子】



【第3回ふれあい展示の様子】



エ 参加者の感想(参加団体・参加者・出品者の感想からの抜粋)

【参加団体】

- ・ たくさんの方にお越しいただき、感想等もいただけて、よい勉強になり、記念にもなりました。展示がきれいにレイアウトされていて、色の統一感があり、うまく表現されていてよかったです。体験教室が和気あいあいとにぎやかにできてよかったです。展示の設備、展示期間がよかったです。満足です。
- ・ 来場者の感想も「きれいで明るい」などギャラリーのすばらしさを評価するものでありました。また、複数の団体の作品が展示されていることから他の展示を見に来られた方が写真展を熱心に観ていただきました。
- ・ 体験してもらう人も多く、交流できました。広々してよかったです。いろいろなアイデアが参考になった。ギャラリーをもっと活用して、色々な団体、期間が使えたらいいと思う。
- ・ すべての作品が味わいと迫力を感じ、最高の作品でした。一年間の活動の充実を感じ、勉強になり嬉しみとなりました。
- ・ 会場も広く、展示のための設備も整っている。そのため、レイアウトの自由度も高く、来場者からも好評の言葉を得た。大きな場で展示を行い、PRも存分に行うことができた。

【参加者・出品者】

- ・ 体験会に参加し、楽しく作品を作ることができました。みなさんすてきな作品ばかりでした。
- ・ ハーバリウムとカットイングボード花デコを体験しました。とっても楽しい時間を過ごしました。他の絵手紙、写真、かごバッグなどもとても素敵でした。
- ・ 素敵な作品が完成し、作っていく過程も楽しくあつという間の時間でした。
- ・ 素敵な作品に囲まれて、ワークショップに参加させていただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。
- ・ 写真、押し花、絵画など様々な作品を楽しむことができました。押し花体験もでき、飾るのが楽しみです。
- ・ 生涯こんなに素晴らしい趣味をもてたらすばらしい人生。足もとにも及ばない自分が小さくみえた。すべてはっとしました。もっと多くの方に知らせたいです。
- ・ ふらっと寄った展示会でしたが、いろんな作品があり感動しました。絵手紙始めてみたくなりました。
- ・ 各々、生き生き、伸び伸び人生を語っておられる。
- ・ 写真等迫力がありすてきでした。アートフラワーの皆さんもお上手で感動しました。

(2) メディア研修講座修了者による「ふれあいメディアフェスティバル」

ア 趣旨及び概要

生涯学習の一環として、中央センターで活動している自主グループの日頃の学習の様子や成果を発表し合い、お互いの交流や親睦を図ることを目的としている。

自主グループは、中央センターで実施しているビデオやパソコンに関する講座を受講した人を中心に結成されている。

教育メディアを利用して作品を作ったり技能を高め合ったりして、創作・文化活動をするグループであり、美しい自然や優れた伝統芸能などを映像化して地域の公共施設（公民館等）や学校等に情報提供し、地域社会に貢献している。

また、各地域での作品発表やコンクールへの応募、中央センターで行われる講座でのサポーターとして活動しながら、生きがいをづくりも目指している。

ふれあいメディアフェスティバルでは、各自主グループの作品発表に加えて、霧島ビデオクラブの作品鑑賞、アジア国際子ども映画祭ノミネート作品鑑賞、県自作視聴覚教材コンクール動画部門最優秀作品の紹介、(有)YBMフロンティアの山下氏とNHK鹿児島放送局の林氏による発表作品の講評と講話等を行い、59人の参加があった。

自主グループ発表作品一覧

イ 期日

令和2年1月18日（土）

ウ 時間

12:30～15:40

エ 場所

交流センター西棟2階中ホール

オ 発表内容

(1) 自主グループ作品

ア ビデオ関係（全7作品）

- ・ シンクさんあい 4作品
- ・ フレッシュ庵摩 3作品

イ パソコン関係（全2作品）

- ・ デジタルアートさくら 1作品
- ・ いちごちゃん 1作品

(2) 地域で活動している自主グループ

霧島ビデオクラブ 1作品

作品名 家紋で守る伝統工芸品

(3) アジア国際子ども映画祭ノミネート作品

新村町立宮富小学校 宮富5G 1作品

作品名：ぼく、悪くない！

出水市立高尾野中学校 高尾野Cチーム 1作品

作品名：～あなたは人のことを考えられますか～

宮崎県立宮崎北高校 NLJK 1作品

作品名：よっちゃん

(4) 令和元年度県自作視聴覚教材コンクール（一般動画の部）

九映会 1作品

作品名：よるさとに生きる ～過疎化地域の復興プロジェクト～（最優秀賞）

カ 講評及び講話

パソコン関係 有限会社YBMフロンティア取締役社長 山下 圭三 氏

ビデオ関係 NHK鹿児島放送局映像編集課部長 林 秀一 氏

| グループ名 | 作品名 |
|------------|------------------------|
| シンクさんあい | 戦争体験談 鹿児島大空襲 |
| | 萬世に生きた武将 日新公 |
| | 伊佐の町誌 |
| フレッシュ庵摩 | 藤原内子内供大劇引 |
| | 高江太郎太郎廻り |
| | 庵摩育ちの子牛 |
| デジタルアートさくら | 島津義弘の足跡 ～えびの・給良・日置～ |
| いちごちゃん | 図形でアート |
| いちごちゃん | 実務編 ～パートⅡ～ |

③ 人材育成講座修了者による「ふるさとリーダー交流会」

ア 目的

活動紹介やフォーラム等の活動をとあして、ふるさとリーダーとしての資質を高めるとともに、参加者同士の交流を深め、より一層自らの力で生涯学習に取り組む人材を育成する。

イ 日時

令和2年2月15日(土) 13:30～17:00

ウ 会場

交流センター

エ 参加者

中央センター主催人材育成講座修了者
ふるさとおこしに興味・関心のある県民

計19人

オ 内容

| プログラム | 内容等(敬称略) |
|-----------------------|--|
| 1 開会式・オリエンテーション | <input type="checkbox"/> 日程説明等について |
| 2 アイスブレイク・自己紹介 | <input type="checkbox"/> 自己紹介を兼ねたアイスブレイク |
| 3 事例発表 【質疑応答・意見交換】 | <input type="checkbox"/> 事例発表者とテーマ ○ 田中 守 (H25 人材育成講座受講者) ・藤原川内市における人材育成事業について ○ 西野キミ子 (H28 基礎講座受講者) ・徳之島での子供食堂、フードバンクの取組み ○ 池増美恵子 (H23 実践講座受講者) ・TFTの体験 |
| 4 フォーラム(テーマ別グループ討議) | <input type="checkbox"/> 討議のテーマ(ボランティアを中心に討議) ・地域の活性化 ・連携、つながり ・高齢者の見守り ・世代間交流、後継者育成 |
| 5 講評 | <input type="checkbox"/> 交流会全体をとおしての講評 金子 満 鹿児島大学法文学部准教授 |
| 6 閉会式 | <input type="checkbox"/> 所長あいさつ及び連絡事項等について |

カ 活動の様子



【アイスブレイク】



【事例発表】



【フォーラム】

2 指導者・講師情報の提供

(1) 目的

県民の文化、学習及びスポーツ活動などの支援と学習成果を生かすために、生涯学習活動に関する指導者・講師及びボランティア等の情報を収集し、中央センターホームページで提供することで県民の生涯学習活動の促進及び発展を図る。

(2) 指導者・講師情報の登録者

社会教育・社会体育有志指導者、公民館講座等の指導者・講師及び特技・趣味を生かした教室やボランティアなどを行っている人が対象で、令和2年3月31日現在の登録者は1,176人である。

情報分類別登録人数は下表のとおり(実人数と延べ人数の差は、複数分類への登録者による)。

| 分類 | 人数 | 分類 | 人数 | 分類 | 人数 |
|-------|-----|--------------|-----|---------------|--------|
| 生涯学習 | 687 | 文学・文芸 | 34 | MF・フ・レクリエーション | 132 |
| 美術・工芸 | 58 | 生活・趣味 | 137 | 情報技術 | 371 |
| 歴史・民俗 | 106 | ボランティア・NPO | 80 | 男女共同参画 | 65 |
| 書道 | 19 | 若少年・成人・高齢者教育 | 85 | 保健福祉 | 17 |
| 舞踊・演芸 | 55 | 産業・政治・経済 | 19 | その他 | 11 |
| 音楽 | 50 | 自然・社会科学 | 70 | 計(延べ人数) | 2,075 |
| 語学 | 49 | 国際交流 | 30 | 実人数 | 1,176人 |

(3) 指導者・講師情報の利用

ア 中央センターのホームページから「指導者・講師情報」をクリックしてシステムに入る。

イ 実施する研修会等に関するキーワードを入力すれば、広く県内全域から指導者や講師、ボランティアの検索ができる。

ウ 学校教育活動やPTA活動、市町村教育委員会や生涯学習諸団体、地域公民館活動等で実施する研修会、体験活動等に登録された人材の活用ができる。



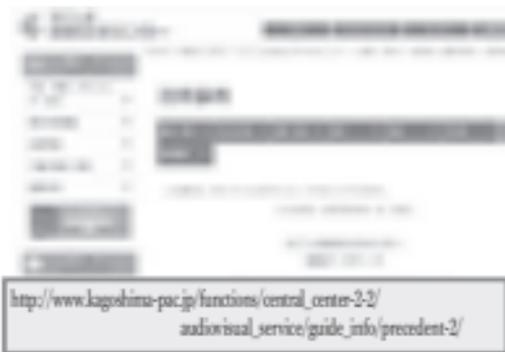
指導者・講師情報のページ

(4) 指導者・講師情報の活用事例

指導者・講師情報に登録された方を活用した研修会等の事例を収集し、ホームページで紹介している。学校、社会教育関係団体、教育委員会等での多様な研修会例を参考にすることができる。



活用事例のページ



3 その他の情報提供

(1) 生涯学習情報コーナー

中央センターの主催事業や県内の各種活動をしている個人や団体等の講座情報及び県・市町村等の広報紙による情報提供の場として交流センターの2階、6階に設置した。

ア 2階情報コーナーの展示

- 中央センター主催事業等に関する広報
- 県内の高校・専修学校・専門学校・大学等に関する情報提供
- 県内市町村の生涯学習事業等情報提供・県外の生涯学習関連事業の情報提供 など



(2階情報コーナー全貌)



(主催事業紹介)



(県内・学校情報提供)



(主催事業紹介(2階通路))

イ 6階情報コーナーの展示(情報サロン内)

- 中央センター主催事業等に関する広報
- 県内市町村の生涯学習事業等情報提供
- 県・県教育委員会、県内全市町村及び関係団体の広報誌
- 県外の生涯学習関連事業の情報提供 など



(市町村、他広報誌等)



(主催事業・関係団体等資料)



(市町村広報誌検索早見表)



(市町村広報誌(過去1年分))

(2) 生涯学習だより

県内の生涯学習振興に寄与し、更に県民の主体的な学習活動を支援することを目指して、中央センターの取組を中心に市町村や県民に周知する。A4用紙両面印刷で、年6回、奇数月に発行した。



(3) 講座情報(月報)

中央センターが主催・連携して実施する全ての講座を月毎にまとめて作成し、ホームページ、館内での配架を通して周知した。

- ##### ア 紹介した講座名
- 生涯学習県民大学講座
 - ふるさとおこしリーダー育成講座
 - メディア研修講座
 - かごしま県民大学連携講座

イ 発行回数

- 4・5月・・・1
 - 6～11、2月・・・各1
 - 12・1月・・・1
- 計9回



(3) 視聴覚ライブラリー

ア 概要

- (7) 視聴覚ライブラリーは、映像教材を活用し、より分かりやすく具体的な学習や研修を行うための支援をしている。
- (4) 貸出権・上映権付きのDVD・ビデオ・16ミリフィルム等映像教材を、営利を目的としないこと等を条件に、学校教育・社会教育等の関係機関・団体に貸し出している。



県視聴覚ライブラリー
(県民交流センター西棟5階)

【参考】（著作権法第38条から）

市販やレンタルされているDVD等は、個人・家族での視聴に限られている。授業の目的達成のためであれば、その一部を授業中に視聴させることができる場合もあるが、「学校教育だから」「料金を徴収していないから」ということで、行事や遠足等が雨で予定変更になった際に、市販のDVD等で映画会を開催するなどということとはできない。

県視聴覚ライブラリー所有教材数（令和2年3月末現在）

| メディア種別 | 所有本数 | メディア種別 | 所有本数 |
|---------|---------|----------|---------|
| ビデオ・DVD | 2,862 本 | 16ミリフィルム | 1,326 本 |

今年度は、次のとおり選定委員会を実施し、新規教材を購入した。（すべてDV教材）

| 実施日 | 委員会名 | 出席者数 | 購入教材数 |
|--------------|---------|------|-------|
| 令和元年10月4日（金） | 教材選定委員会 | 8人 | 22本 |

イ 令和元年度の視聴覚教材利用状況(令和2年3月末時点の集計)



※ 平成31年4月～令和2年3月合計／教材貸出本数2,515本、教材利用人数95,061人

ウ 映像教材の提供

中央センターホームページ上に「最新映像教材一覧」と「よく利用される教材一覧（ジャンルごと）」を掲載している。近年購入した映像教材については、パッケージの画像とともに主な内容や活用ジャンル等を記載している。

また、「映像教材活用事例」（PDF）には、参考として映像教材の活用事例を掲載している。

(4) ホームページによる情報提供

ア 目的

県民の適切な学習機会の選択と自主的な学習活動の取組をサポートするため、交流センターの情報システムを通じて、生涯学習や男女共同参画など交流センターの各機能に関する情報とともに県下全域の指導者・講師、視聴覚ライブラリー情報をデータベース化し、インターネットを通じて県民に提供する。

イ ホームページの内容項目

(7) メインメニュー

「講座・研修」「学びの手帳」「講師・教材」「展示」「相談」「刊行物」「関係機関」の7つのメニューがあり、様々な情報を得ることができる。

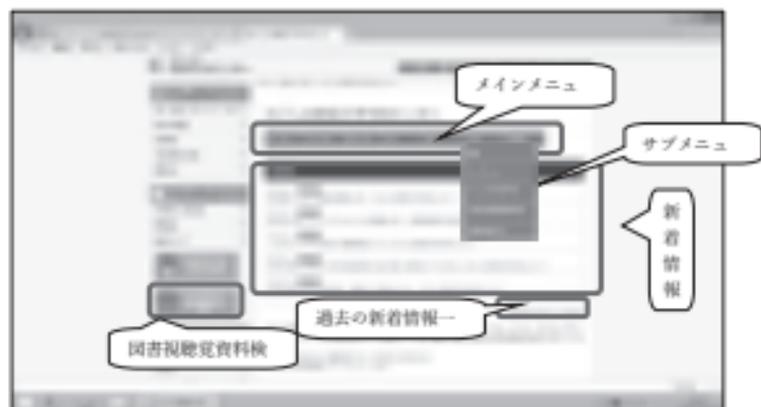
(8) サブメニュー

メインメニューにマウスオーバーすると下記のようなサブメニューが表示される。

| メインメニュー | サブメニュー |
|---------|--|
| 講座・研修 | 講座案内、ふるさとリーダー交流会、生涯学習県民大学講座、かごしま県民大学連携講座、メディア研修講座、未所研修、かごしま青年塾、ふるさとおこしリーダー育成講座 |
| 学びの手帳 | 学びの手帳 |
| 講師・教材 | 指導者・講師情報検索、利用の仕方、活用事例 視聴覚ライブラリー-鹿児島県視聴覚ライブラリーの利用の仕方、活用事例、最新の映像教材一覧、よく利用されている映像一覧 かごしま映像百科デジタルコンテンツ |
| 展 示 | 生涯学習ふれあい展示、教育メディア自主グループ |
| 相 談 | 生涯学習に関する相談窓口 |
| 刊 行 物 | 要覧、リーフレット、かごしまの生涯学習、生涯学習だより、生涯学習関連事業調査 |
| 関 係 機 関 | 市町村の生涯学習、各機関へのリンク 鹿児島県視聴覚教育連盟-県視連だより、自作視聴覚教材コンクール、自作視聴覚教材コンクール審査結果 アジア国際子ども映画祭 |

ウ 図書視聴覚資料検索

県視聴覚ライブラリーが保有している視聴覚教材を本システムから検索して貸出状況を確認することができる。



IV 調査・研究

1 主催講座等の修了者の受講後の活動状況

(1) 過年度（H23～H30）「人材育成講座」修了者の受講後における活動状況

ア 調査の時期

平成 31 年 2 月

イ 調査の対象期間

平成 23 年度～平成 30 年度（調査時期現在）

ウ 調査の対象

（調査対象者及び回答者等）

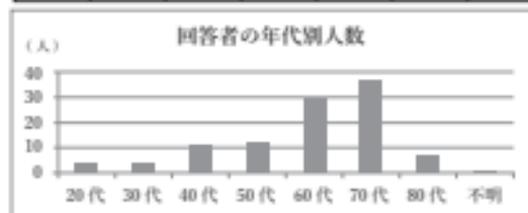
（人）

| 年度 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 全体 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 対象者 | 25 | 18 | 55 | 40 | 42 | 30 | 32 | 23 | 265 |
| 回答者 | 10 | 5 | 28 | 12 | 12 | 13 | 13 | 11 | 104 |
| 回収率 | 40% | 28% | 51% | 30% | 29% | 40% | 44% | 48% | 39.2% |

（回答者の年代別人数）

（人）

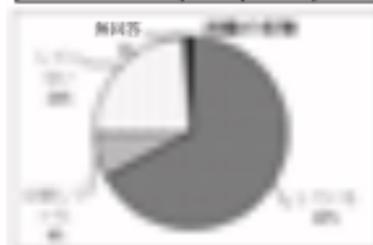
| 年代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 不明 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 人数 | 4 | 4 | 11 | 12 | 29 | 36 | 7 | 1 | 104 |



エ 調査の内容及び結果

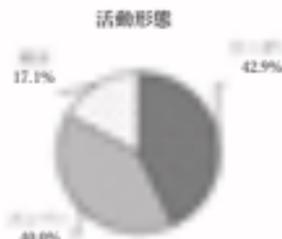
質問1 講座受講後、何らかの活動をしているか

| 選択数 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 合計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| している | 9 | 2 | 21 | 5 | 7 | 10 | 10 | 6 | 70 |
| 今はしていない | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 8 |
| していない | 0 | 2 | 5 | 5 | 5 | 2 | 1 | 5 | 25 |
| 無回答 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |



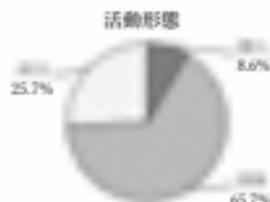
質問2 質問1で「活動している」と回答した者の活動形態

| 選択肢 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 合計 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| リーダーとして活動 | 6 | 1 | 11 | 0 | 2 | 3 | 4 | 3 | 30 |
| メンバーとして活動 | 1 | 0 | 9 | 4 | 2 | 5 | 5 | 2 | 28 |
| 両方 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 12 |
| 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 |



質問3 質問1で「活動している」と回答した者の活動形態

| 選択肢 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 個人 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 6 |
| 団体 | 4 | 1 | 16 | 5 | 5 | 4 | 9 | 2 | 46 |
| 両方 | 5 | 1 | 4 | 0 | 1 | 4 | 1 | 2 | 18 |



質問4 質問1で「活動している」と回答した者の具体的活動内容

① 個人での活動

- ・居住する地域内の公民館等で公民館講座や自主講座を通じた地域支援への取組・観光ボランティア等の取組
- ・子供や高齢者の見守り等の活動に何らかの形で関わっている取組

※ 団体（グループ）に比べると個人での活動は少ない。

② 団体・グループでの活動

- ・公民館や自治会等の団体、またはその団体を構成する下部団体（女性団体等）での活動
- ・子供や高齢者、障害者等の見守り活動を中心に、団体に幅広く活動

※ 居住する地域内の公民館等での取組が多い。

質問5 現在活動する上で困っていること、課題

- ・組織会員の高齢化や会員不足、後継者不足（回答者の年齢別人数との係わり）
- ・活動への理解不足や担い手不足による活動の停滞
- ・担い手や活動資金の不足など広報・周知

※ 若年（30代）は、周りとのつながりに課題をもつ傾向にある。

質問6 今後希望する講座

- ・これまで中央センターで実施してきた講座内容
- ・より具体的に、地域活動におけるスキルの向上を目的とした講座

※ 個人の学びについては多岐にわたるため、講座実施に当たっては精査する必要がある。

質問7 活動していない理由（33/104人）

- ・体調不良（回答者の年齢別人数との係わり）
- ・就業、その他の理由で活動を続けられない

※ 講座に参加し活動意欲は高いが、実際できる活動が見つからない、マッチしないケースがある。

※ 受講をきっかけに様々な活動に前向きに取り組む姿勢が伺える。（他方面での活動）

(2) メディア関係の講座受講者等の活動例

ア メディア研修講座

| No. | 氏名(敬称略) | 受講した講座 | 講座を生かした作品制作及び実践 |
|-----|---------------------------------|------------------------------|---|
| 1 | 池増 美恵子 | スマホ・タブレット活用講座ー地域活動に生かすー | 普段、なんとなく使っているスマホやタブレットの基本操作について学んだ。写真撮影、プレゼンはディスプレイアダプターを使った効果的な見せ方、インスタグラムはSNSの利点や注意点について具体的に説明を受けた。これらの学習を基に、ふれあいメディアフェスティバルでの作品づくりに生かすことが出来た。 |
| 2 | 西之表市立 松城小学校 三原 美保 | 教育メディア活用講座 | 今回受講した講座でスクラッチを体験したことにより、プログラミング教育の授業に生かすことができた。プログラミング教育の導入として、順次、繰り返しを使ったダンスをプログラミングしたものを子供たちに見せた。そのことにより、コンピュータの良さを伝えることができたと思う。 |
| 3 | 西之表市 教育委員会 社会教育課 笹川 智美 | タブレット・スマホで情報発信 ー地域素材を生かすー | SNSを実際に仕事として活用している方の具体的な話を聞くことができ、とても勉強になった。情報モラル教室や各種研修会等で、SNSの特徴や写真を撮影する際の注意点、個人情報の取り扱い等について、さまざまな事例をふまえつつ、より具体的な話ができるようになった。今後もさまざまな場面で還元していきたい。 |

イ 県自作視聴覚教材コンクール

| | 氏名(敬称略) | 応募部門 | 制作活動に当たっての感想 |
|---|----------------|---------------------------------------|--|
| 1 | 九 映 会 山田 良子 | 鹿児島県自作視聴覚教材コンクール 動画部門 一般の部 最優秀賞 | この度は、この様な立派な賞をいただきまして、ありがとうございます。この賞をいただけたのは、作品制作に携わって下さった方々のご協力の賜物と感謝致しています。現在、高齢化に伴い地方の過疎化が増加しています。鹿児島市郡山地域もその一つです。郡山地域では、UターンやIターンの方々も一緒に「みんなを郡山に呼ぼう」と色々な催しに携わり、活動しています。地域の活性化は地域を大切に思う心である事を、学んで頂けたら有難いです。(表彰時のあいさつより) |

(3) 「来所研修」利用の自主グループの活動例

| No. | サークル名 (活動内容) 代表者(敬称略) | 具体的な内容 (編成のきっかけとなった講座) |
|-----|--|--|
| 1 | リンクさんあい (ビデオ作品制作) 増田 勇 | 毎月第1金曜日に定例会を開催し、各自で制作した映像作品の相互鑑賞等を通して、技術や知識の向上を図っています。また、地域の様々な行事等を映像作品としてまとめ、コンクールへの出品や各種団体への寄贈も行っています。今後も、地域活動・自然・伝統行事の記録に積極的に参加し、楽しく多くの映像作品を制作したいと考えています。 (H19年度デジタルビデオ撮影・編集講座) |
| 2 | フレッシュ講座 (ビデオ作品制作) 西 輝雄 | 毎月第2・4木曜日に定期的に集まり、ビデオ撮影や編集を通して、会員同士で技術や知識の向上を目指しております。美しい自然や伝統芸能などを作品にまとめ、コンクールなどへ出品や、地域の行事に参加して作成した作品を寄贈しております。 会員も13人になり、講座のサポート、またボランティア活動などを通して、生き甲斐つくりと社会への貢献を目指したいと考えております。 (H20年度デジタルビデオ撮影・編集講座) |
| 3 | すみれ (ビデオ作品制作) 遠矢 洋子 | 「映像作品づくり講座 つぎは映像サポーター」を受講後自主グループ「すみれ」を立ち上げて13年目となります。原則毎月第1と第3火曜を定例会日とし身近な題材を中心に子供、親子、仲間、近隣の祭などを撮影してきました。写真や動画を記録として残すことは、楽しいものです。編集作業はパソコンを使用しますので脳の活性化にもなります。解らない時は指導者の先生方が身近にいらして頼もしい限りです。今後も趣味として高望みせずコツコツとビデオ作品に情を出して行こうと思います。また、ビデオ制作で培った技量を生かし地域に貢献出来たらと考えております。 (H20年度デジタルビデオ撮影・編集講座) |
| 4 | デジタルアートさくら (ワード・パワーポイントの 図形による作品の制作) 元吉 ひとみ | 月1回の活動と少ないですが、技術を教え合いながら各自持ち帰り作品を仕上げています。ワード・パワーポイントの図形を使って楽しく作品を制作しています。 デジタルアートの新しい感覚の面白さや知識・技術を学びたいということでグループを結成しました。ワードやエクセル、デジカメ講座のサポーターとしても手伝いをしています。また、2階の生涯学習コーナーで作品を展示しています。 (H20年度デジタルアート講座) |
| 5 | いちごちゃん (ワード・エクセル・パワー ポイントによる作品の制 作) 池増 美恵子 | 平成23年12月に講座サポーターのスキルアップのために活動を始めたグループです。現在はワード、エクセル、パワーポイント、インターネット、画像編集など各自のスキルアップを目指し活動しています。パワーポイントによる作品制作発表を通して、更に知識や技術を高め、個々の資質向上を目的として活動しています。 (H20年度 中級講座) |

2 県内の生涯学習推進状況調査

(1) 調査の概要

ア 目的

生涯学習に関する県内の推進状況を調査することにより、事業の運営に生かすとともに、生涯学習環境の充実に資する。

イ 調査の時期

令和元年8月～10月

(1) 調査の概要

ア 大学・短大・民間教育機関・企業・団体等の平成30年度の事業数

| 講座等開設機関等 | | 講座数 | 計 | 受講者数 | 計 | |
|-------------|-------------------------|--------------------------|-----|------|--------|--------|
| 1 | 大学・短大等の公開講座 | 鹿児島大学 | 35 | 195 | 2,236 | 8,863 |
| | | 鹿児島体育大学 | 15 | | 594 | |
| | | 鹿児島国際大学 | 5 | | 959 | |
| | | 第一工業大学 | 22 | | 380 | |
| | | 志学館大学 | 25 | | 916 | |
| | | 鹿児島純心女子大学 | 9 | | 606 | |
| | | 鹿児島県立短期大学 | 1 | | 152 | |
| | | 第一幼児教育短期大学 | 4 | | 10 | |
| | | 鹿児島女子短期大学 | 5 | | 638 | |
| | | 鹿児島純心女子短期大学 | 26 | | 1,735 | |
| | | 放送大学鹿児島学習センター | 8 | | 501 | |
| 鹿児島工業高等専門学校 | 20 | 136 | | | | |
| 2 | 高等学校 (私立・公立・国立) | 私立学校 | 4校 | 26 | 1,083 | 1,518 |
| | | 公立学校 | 0校 | | 0 | |
| | | 私立学校 | 2校 | | 435 | |
| 3 | 各種学校・専修学校 (私立・専修) | 公立専修各種学校等 | 2校 | 10 | 351 | 532 |
| | | 私立専修学校等 | 5校 | | 181 | |
| 4 | 企業・団体 (講演会) (講習会) | 県経営者協会 | 30 | 254 | 1,884 | 8,916 |
| | | 県商工会議所連合会 | 54 | | 2,403 | |
| | | 県商工会連合会 | 190 | | 4,629 | |
| 5 | 民間教育機関 | IKKGAカルチャーセンター・イオンモール鹿児島 | 130 | 978 | 550 | 25,234 |
| | | 前日本放送MBC学園 | 289 | | 1,500 | |
| | | 前日本新聞編集センター文化教室みんカル | 195 | | 1,160 | |
| | | 前日本テレビ放送網社リビングカルチャー倶楽部 | 295 | | 8,350 | |
| | | 白根屋文化教室 | 69 | | 13,674 | |

イ 県機関の生涯学習関連事業数

※ 平成30年度までは実施予定調査であったが、令和元年度より実施調査に変更。なお、平成30年度分については、令和元年度分と併せて令和2年度事業報告に掲載予定。

ウ 市町村における平成30年度の連携事業

※ 平成30年度までは実施予定調査であったが、令和元年度より実施調査に変更。なお、平成30年度分については、令和元年度分と併せて令和2年度事業報告に掲載予定。

3 学習ニーズ調査について

(1) 調査の目的

令和元年度生涯学習県民大学講座参加者を対象に「今後受講したい講座テーマ」について調査をし、今後の本県における生涯学習を推進するための基礎資料とする。

(2) 調査の概要

ア 対象

(7) 生涯学習県民大学講座の受講者

(i) 会場（県内11会場 26講座）

いちご中津野市、枕崎市、指宿市、阿久根市、さつま町、霧島市

西之表市、屋久島町、徳之島町、天城町、かごしま県民交流センター

イ 調査方法

アンケートによる選択回答（複数回答）

【質問】今後、受講したい講座テーマの番号を○で囲んでください。

1 防災 2 地域活性 3 産業 4 環境
5 教育・育兒 6 医療・健康 7 介護・援助 8 その他

ウ 調査期間

令和元年5月～令和元年12月

(3) 調査結果

ア 地区別の回収状況

| 地区 | 実施市町・会場 | 講座数 | 受講者数(人) | 回答者数(人) | 回収率(%) |
|--------------|---------|-----|---------|---------|--------|
| 鹿児島 | いちご中津野市 | 2 | 140 | 116 | 82.9 |
| | 枕崎市 | 2 | 222 | 179 | 80.6 |
| 南 薩 | 指 宿 市 | 2 | 105 | 53 | 50.5 |
| | 阿久根市 | 2 | 109 | 74 | 67.9 |
| 北 薩 | さつま町 | 2 | 68 | 48 | 70.6 |
| | 霧島市 | 2 | 328 | 228 | 69.5 |
| 新直・伊佐 | 西之表市 | 2 | 50 | 32 | 64.0 |
| | 屋久島町 | 2 | 257 | 112 | 43.6 |
| 熊 毛 | 徳之島町 | 2 | 86 | 72 | 83.7 |
| | 天城町 | 2 | 80 | 39 | 48.8 |
| かごしま県民交流センター | | 6 | 262 | 217 | 82.8 |
| 合 計 | 11 | 26 | 1,707 | 1,170 | 68.5 |

イ テーマ別・年代別の受講希望講座の状況(人・複数回答)

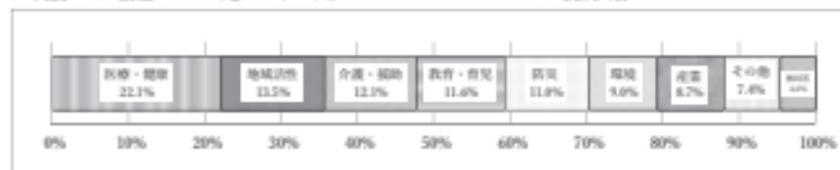
| テーマ | 年代 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代～ | 合計 |
|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 防 災 | 0 | 4 | 16 | 46 | 41 | 69 | 58 | 9 | 243 | |
| 地域活性 | 0 | 2 | 18 | 36 | 45 | 104 | 80 | 13 | 298 | |
| 産 業 | 0 | 0 | 12 | 29 | 25 | 74 | 45 | 7 | 192 | |
| 環 境 | 1 | 3 | 8 | 22 | 33 | 76 | 44 | 10 | 197 | |
| 教育・育兒 | 0 | 9 | 60 | 83 | 44 | 43 | 14 | 2 | 255 | |
| 医療・健康 | 0 | 5 | 30 | 47 | 49 | 128 | 174 | 54 | 487 | |
| 介護・援助 | 0 | 0 | 14 | 25 | 22 | 66 | 111 | 28 | 266 | |
| その他 | 2 | 1 | 12 | 25 | 26 | 47 | 41 | 8 | 162 | |
| 無回答 | 0 | 2 | 4 | 8 | 0 | 22 | 46 | 19 | 101 | |
| 合計（戻へ） | 3 | 26 | 174 | 321 | 285 | 629 | 613 | 150 | 2,201 | |
| 回答者 | 3 | 16 | 93 | 167 | 156 | 304 | 342 | 89 | 1,170 | |

※ 「その他」の主な回答

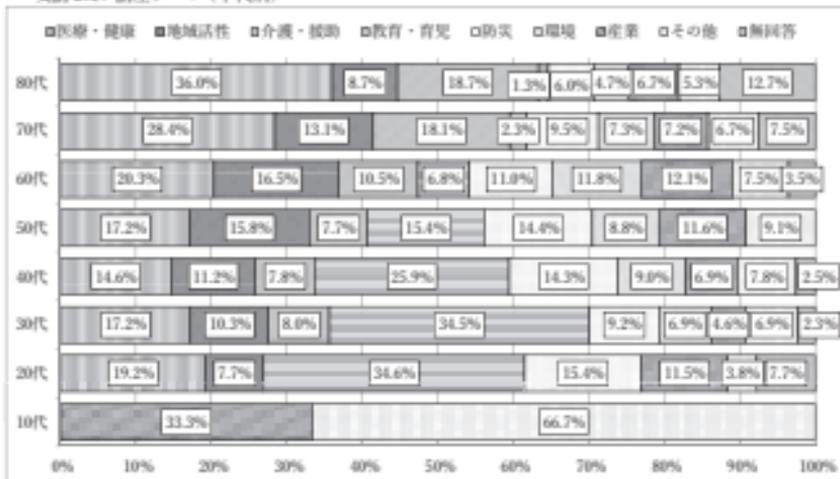
- ・ 避難指示が発令された場合、移動困難者の移動について
- ・ 発達障害、グレーゾーンの子供をもつ親のための講座
- ・ これからのICT、IoT、AIの時代に向けての講座
- ・ 鹿児島県の歴史と文化、自然
- ・ 金銭教育
- ・ ネット詐欺
- ・ 薬物依存症について
- ・ 地球温暖化による地球環境の変化について
- ・ 職場の中のメンタルヘルス的な内容
- ・ SDGsについての分かりやすい説明
- ・ 一人暮らしの高齢者の生活援助について

ウ 受講したい講座テーマ（延べ：2,201人）

※複数回答



エ 受講したい講座テーマ（年代別）



- ・ 受講したい講座テーマの全体では、アンケート回答者に60代以上の割合が多いことから、今後受講したい講座の希望も「医療・健康」が最多となった。
- ・ 「教育・育児」は、20代から50代の子育て世代に希望が多く、特に20代から40代では希望が最多になっている。また、「介護・援助」は、50代以上の希望が多い。
- ・ 「環境」や「防災」は、世代に関係なく一定の希望がある。

4 鹿児島大学との共同研究

(1) 趣旨

本県の生涯学習の現状や課題について、知見を有する大学と連携し、共同で研究することにより、その成果をより実践的に活用するため。

(2) 期間

令和元年7月12日～令和元年9月30日

(3) 研究テーマ

「人口減少時代における鹿児島県下の社会教育・生涯学習の課題・ニーズ把握のための調査体制確立に向けた基礎的研究」

(4) 研究担当者

中央センター（所長以下中央センター職員全員）

大山 涼子、諏訪 瑞枝、高見 憲次、満田 忠、長野 素子、鎌田 秀三、
坂元 一善、吉見 圭太郎

鹿児島大学産学・地域共創センター（法文学部准教授及び法文学部〈兼務 産学・
地域共創センター〉准教授+）

小栗 有子+、農中 至、金子 満、酒井 佑輔+

(5) 研究内容

ア 目的

長寿化や Society5.0 などの社会変化を含む人口減少時代における鹿児島県下の社会教育・生涯学習の課題とニーズを的確に把握し、鹿児島県として実質的かつ効果的な生涯学習の推進のための不可欠な調査体制の確立に向けた基礎調査を行う。

イ 具体的な内容

・調査対象 ふるさと活性化人材育成事業（中央センターの実施事業）

・方法 次の3つの視点でチームを組み、検証を行う。

①事業を実施する市町村の住民

②事業を実施する市町村行政（教育委員会事務局）

③事業主体の中央センター

(6) 成果物

報告書の刊行（令和2年1月31日）

「共同研究報告書 人口減少時代における鹿児島県下の社会教育・生涯学習の課題・ニーズ把握のための調査体制確立に向けた基礎的研究」



V 「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業

1 概要

(1) 趣旨

生きがいや心の豊かさを求めて、いつでも、どこでも、だれでも、希望する内容と方法で、気軽に学べるようなシステムづくりが必要になっている。

このため、県や市町村等の主催する生涯学習講座の学習機会を県民へ効果的に提供するとともに、その学習者が個々の学習歴を確認したり、学習成果を幅広く生かしたりしていくことを目的とする。

(2) 概要

中央センターが中心となり、県民の生涯にわたる学習活動を支援し、より学びやすい環境を整備するため、県・市町村・大学等教育機関などと連携して、講座、研修などを提供し県民の学びを応援するため、講座案内や学習履歴を記録する手帳を作成し、希望者へ発行する。

ア 「学びの手帳」とは

「学びの手帳」は、講座などを受講された際に、その学びの足跡を自分自身で記録していくためのものである。学習成果の記録の積み重ねを確認することで、皆様の学びの跡みにしていただきたい。

県、市町村、大学等教育機関など様々な機関等で行われる講座などを受講した方には、単位ごとに奨励賞（賞状）を授与する。

イ 「学びの手帳」の申込方法

「学びの手帳」は、県民の方ならどなたでも申し込むことができる。（無料）

手続は、申請書（1枚）を提出するだけで、いつでも希望する方に「学びの手帳」を送付する。

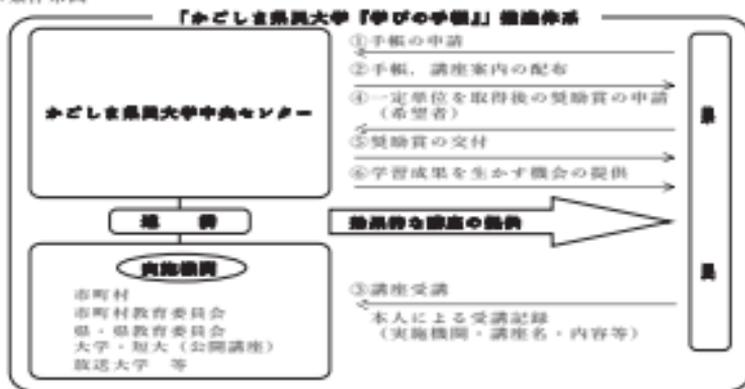
ウ 講座案内

県や市町村等が主催する生涯学習講座情報などを、中央センターの「講座案内」や「ホームページ」で紹介する。

(3) 主催

中央センター

2 事業者系図



Ⅵ かがしま青年塾（明治維新150周年を記念して後世に継承するための事業）

- 1 目的
明治維新150周年を契機に、様々な分野において地域社会をリードする人材を育成するため、本県の教育的風土や伝統を生かした「かがしま青年塾」を将来の鹿兒島を担う青年層を対象に実施する。
- 2 主催
鹿兒島県教育委員会
- 3 対象者及び定員
概ね18歳～25歳程度の大学生（短大生を含む）、社会人で、原則毎回参加できる県内在住の人 50人程度
- 4 期日及び会場
令和元年6月～令和2年2月（月1回程度原則日曜日に実施）
鹿兒島県庁、交流センター、青少年研修センター 他
- 5 プログラム
現地研修、宿泊研修、講演、交流会、グループ研究、意見発表 等
- 6 受講料
無料（但し、宿泊研修必要経費は実費負担）
- 7 塾生
29人（学生16人 社会人13人）
- 8 塾生の感想
 - ・ 社会人として求められる人材として、個性をはっきりと持っていることの大切さや何事においても客観視できる能力、自分を信じ、決断していくことが必要であることを学ぶことができた。
 - ・ どんな状況でも諦めずに立ち向かい、自分の頭で考え、行動し、仲間と協力することが大切であると感じた。
 - ・ 塾生の皆さんと意見を交換していく中で、鹿兒島の魅力を再認識し、鹿兒島県民であることにあらためて誇りを持つことができた。
 - ・ 今後も、「かがしま青年塾」のような場を自分で見つけて参加し、自己研鑽に努めていきたい。また、鹿兒島を支える一人である自覚をもつとともに、その思いを周りの人たちにも伝えるようにしていきたい。

9 活動の様子



【開講式】



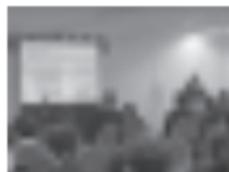
【講演】



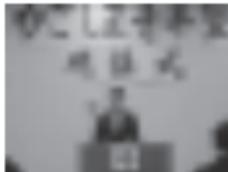
【グループワーク】



【交流会】



【意見発表会】



【閉講式】

令和元年度「かごしま青年塾」講座カリキュラム

| | 開催日時・会場 | 講座内容等 | 講師 |
|-------------|---|--|---|
| 開講式 | 6月23日(日) 13:00～17:00 県庁6階大会議室 | <ul style="list-style-type: none"> ■塾長(鹿児島県知事)あいさつ ■基調講演 ■明治維新に関する講話 ■パネリング・ディスカッション | 基調講演：島津 公保 氏 (県教育委員、株式会社島津興業取締役相談役) 明治維新に関する講話：肥後 秀昭 氏 (鹿児島市議選ふるさと新野交野選目) |
| 現地研修 | 7月20日(土) 10:00～16:30 北薩地区 始良・伊佐地区 | <ul style="list-style-type: none"> ■北薩地区、始良・伊佐地区で先進的取組を行っている企業での、視察・講話、塾生同士の意見交換 【Aコース】尾塚水産—山下製蟹 【Bコース】ヘンタ製茶—福山製糖 | 【Aコース】 尾塚 エイ子 氏 (有限会社尾塚水産取締役社長) 山下 弘 氏 (有限会社山下製蟹専務取締役) 【Bコース】 進田 孝一 氏 (ヘンタ製茶有限公司代表取締役) 津曲 晋作 氏 (福山製糖株式会社専務取締役) |
| 前泊研修 講演① | 7月20日(土) 21日(日) 16:30～翌12:00 県立青少年研修センター | <ul style="list-style-type: none"> ■塾生同士の交流活動 ■卒業生との交流 ■講演 ■グループワーク | 講演①：宮原 隆和 氏 (株式会社エム代表取締役) |
| 講演② | 9月8日(日) 13:00～17:00 かごしま国際会議センター | <ul style="list-style-type: none"> ■講演 ■グループワーク | 講演②：尾堂 真一 氏 (日本料理調理科株式会社代表取締役会長) |
| 交流会 | 10月27日(日) 13:00～17:00 かごしま国際会議センター | <ul style="list-style-type: none"> ■県内各地で活躍する若手リーダーの講話 ■講師との交流、自由交歓 ■グループワーク | 佐々木 こづえ 氏 (アビール代表) 浜 本 麦 氏 (NPO法人くすの木自然館専務理事) 吉村 祐太 氏 (合同会社美山商店代表) 藤野 真繁江 氏 (株式会社climbest代表取締役) |
| 講演③ 講演④ | 11月24日(日) 9:30～17:00 かごしま国際会議センター | <ul style="list-style-type: none"> ■講演 ■グループワーク | 講演③：片野坂 真哉 氏 (ANAホールディングス株式会社代表取締役社長) 講演④：久保 哲也 氏 (SMB C日本証券株式会社代表取締役会長) |
| 講演⑤ | 12月15日(日) 13:00～17:00 かごしま国際会議センター | <ul style="list-style-type: none"> ■講演 ■グループワーク | 講演⑤：津曲 貞利 氏 (日本ガス株式会社代表取締役社長) |
| 鹿児島県 閉講式 | 2月16日(日) 10:30～16:00 県庁6階大会議室 | <ul style="list-style-type: none"> ■グループごとの意見発表 ■修了証書授与 ■塾生代表あいさつ ■塾長(鹿児島県知事)あいさつ | |

* コーディネーター 馬渡 一紀 氏 (共創経営パートナーズ合同会社)

Ⅶ アジア国際子ども映画祭参加作品選定事業

1 目的

子供たちが自ら作成した3分間の映像作品をコンテストするアジア国際子ども映画祭の九州ブロック事務局として、作品を募集するとともに映画祭出品作品を選定する。

2 主催 アジア国際子ども映画祭実行委員会（南あわじ市）

3 内容

(1) テーマ 「迷惑をかけることは？」

(2) アジア国際子ども映画祭の趣旨（第13回アジア国際子ども映画祭パンフレットより）

ア 子どもたちがホームビデオカメラで作成した映像作品をおとして、自らの心の深層と思いを伝える。

イ 海外の子どもたちが制作した映画作品を鑑賞するとともに多様な価値観を理解し、同世代間の国際交流を進める。

ウ 映画作品に込められた子どもたちの心を真摯に受け止め、青少年がたくましく希望をもって生きていくための社会環境や指導者（大人）のあり方をさぐる。

エ 大学や研究機関と連携し、映画作品から読み取れる子どもたちの心理を把握し、今後の青少年教育に役立てる。

(3) 応募資格 九州各県の小学生、中学生、高校生及びそれらの年齢に相当する個人またはグループ

(4) 募集期間 令和元年6月中旬から8月30日（金）

(5) 九州ブロック審査会

ア 実施日 令和元年9月15日（日）

イ 審査結果 応募数：全9作品

映画祭出品作品：3作品（九州ブロック優秀賞）

| 作品タイトル | グループ名 | 学校名 | 作品のあらすじ・作品紹介（参加応募用紙より） |
|--------------------|-------------|-----------------|---|
| ぼく、悪くないし！ | 宮富5G | 新付町立 宮富小学校 | 天真爛漫な健太。普段の様子とがどだけ友達に迷惑をかけているのか、友達に言われても言い訳をしてしまう。友達の本気さに初めて自分の行動が迷惑をかけていたことに気付く。「自分さえよければいい」という考えを改める。 |
| ～あなたは人のことを考えられますか～ | 高尾野 Cチーム | 高尾野市立 高尾野中学校 | 迷惑には、たくさんの種類があります。その中には、「他人に自分の仕事を押しつける」があります。自分では迷惑をかけていないと思っていたとしても、実は相手は迷惑だと思っているかもしれない。あなたは、相手の気持ちを考えることができますか？ |
| よっちゃん | NJK | 宮崎県立 宮崎北高等学校 | 「迷惑、もう聞かないで」と言われたことをきっかけに、人に頼ることができなくなった主人公のしおり。しおりはいつも、友人である加奈からもらったストラップ（よっちゃん）に相談をしていた。そんなある日、よっちゃんが、しおりの前に現れ、しおりに大切なことを教える。この作品が皆さんにとって「迷惑をかけること」についてもう一度考え直すきっかけになったらうれしいです。 |

ウ 発表 令和元年9月25日（水）

(6) 第13回アジア国際子ども映画祭 IX 南あわじ市

ア 開催日 令和元年12月7日（土）

イ ノミネート作品数 国内作品数 24 作品、海外作品数 45 作品、計 69 作品

ウ 賞の内容

杉良太郎特別賞、法務大臣賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞（各1点）

優秀賞（4点）、入賞（4点）

エ 九州ブロック出品作品受賞結果 優秀賞：宮崎県立宮崎北高等学校 NJK 「よっちゃん」

* 映画祭の詳細 (<http://asianfilm.chu.jp/>)

令和元年度 かごしまの生涯学習

(かごしま県立大学中央センター事業報告書 16)

令和2年5月発行

編集・発行 鹿児島県教育庁 かごしま県立大学中央センター

住所 〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50(かごしま県民交流センター内)

生涯学習課 学習推進係 TEL 099-221-6604 FAX 099-221-6640

生涯学習課 学習情報係 TEL 099-221-6606 FAX 099-221-6642

E-mail kenmindaigaku@pref.kagoshima.lg.jp(共通)

ホームページアドレス http://www.kagoshima-pac.jp/functions/central_center-2-2/

